

資料：

## 吉田常夏編集『燭台』細目（一） —昭和2年10月号から昭和3年10月号まで—

The Contents of SHOKUDAI edited by YOSHIDA TOKONATSU  
from October 1927 to October 1928

加藤 禎 行  
KATO Yoshiyuki

This article introduced the table of contents of the literary magazine "Candlestick" (SHOKUDAI) edited by YOSHIDA TOKONATSU. This magazine was published in Shimonoseki, Yamaguchi Prefecture from 1927 to 1932. This article covers the period from October 1927 to October 1928.

本稿は、一九二七（昭和2）年十月から一九三二（昭和7）年九月まで、山口県下関市で編集発行された文芸雑誌『燭台』の細目を掲げる。現在、『燭台』の所蔵が公共図書館で確認できるのは、下関市立中央図書館の二七冊のみで、これを元にして、すでにワードプロセッサによる私製の総目次として、前田博司編『『燭台』目次 主要人名索引』（一九九七（平成9）年三月、一九九九（平成11）年六月増補）が作成され、下関市立中央図書館に所蔵されている。この先行する資料調査を踏襲しつつ、さらなる書誌調査を行うことで作成された細目が本稿である。紙数の関係から本稿では、一九二七（昭和2）年十月号から一九二八（昭和3）年十月号までを取り扱うこととする。

雑誌『燭台』の資料調査は、二〇一九（令和元）年度のやまぐち文学回廊構想推進協議会の調査研究事業として、二〇一九（令和元）年一二月から二〇二〇（令和2）年三月にかけて実施された。この調査研究事業は、加藤禎行（山口県立大学）、中原豊氏（中原中也記念館）、井関和彦氏（山口県立山口図書館）の三名がワーキンググループとして取り組み、そしてまた、下関市立図書館、山口県立山口図書館から大きな協力を得た。以下に、本稿が取り扱う文芸雑誌『燭台』の概略を掲げておく。

雑誌『燭台』の発行者であった吉田常夏（一八八九（明治22）年～一九三八（昭和13）年）は、大正・昭和初期の詩人・編集者である。小説集『三都情話』

（一九一八（大正7）年五月、三陽堂書店）、青柳有美と河井醉茗の他序をそなえた恋愛警句集『朱唇秘抄』（一九一八（大正7）年十月、三陽堂書店）などの著作を残してはいるが、日本近代文学館編『日本近代文学大事典』（講談社）に吉田常夏の立項は見られない。

常夏は、一八八九（明治22）年四月二五日、東京市で産声を上げるも山口湯田の吉田家の養子となり、やがて下宇野令尋常高等小学校、山口中学校に学ぶ。やがて文学熱が高まり、常夏は雑誌『文庫』に新体詩の投書を始めている。一九〇五（明治38）年十六歳のとき、家族とともに東京に転居するが、以後の経緯については、常夏の妻吉田静代の回想録『ひとつの流れ』（一九七七（昭和52）年九月、光風社書店）が事情を伝えている。常夏は早稲田大学の高等師範部に一時、籍を置くも学業は続かず、『文庫』記者として詩欄を担当していた詩人河井醉茗の書生となり詩を志す。だが一九〇九（明治42）年、出版準備中だった第一詩集の原稿と校正刷を火災で焼失し、詩作への意欲を喪失した常夏は、一度、詩人としての活動をやめてしまう。以後、神戸大阪を転々としたのち、再び河井醉茗を頼り上京し、常夏は娯楽雑誌『うきよ』（一九一三（大正2）年三月創刊、楽文社）の編集に携わる。楽文社は、河井醉茗が編集していた『女子文壇』の発行元女子文壇社が別に立てた堂号で、吉田常夏は『うきよ』記者時代に、『女子文壇』記者の松井静代と出会い結婚する。しかし一九一四（大正3）年一月には楽文社を離れ、『読

売新聞』の記者、三陽堂書店が出版した読み物の著述など、職を転々とし、一九一八（大正7）年に『中外商業新報』（日本経済新聞の前身）記者となり、一九二三（大正12）年まで勤めた。この年九月の関東大震災を経て、一九二四（大正13）年八月、吉田常夏は山口県に戻り『関門日日新聞』記者となる。吉田静代の回想録『ひとつの流れ』が伝えるのはこの時期までである。

以後の常夏の生涯を窺い知るための資料に、吉田静代述・吉田生緒記の『燭台・常夏・下関』（『燭台』第3号・第4号、二〇〇二（平成20）年九月、二〇〇八（平成26）年六月、下関市で発行された同名異誌）がある。これは『ひとつの流れ』続編として口述筆記されたもので、下関時代の吉田常夏静代夫妻の生活と雑誌『燭台』の出版経緯を伝えている。

これに従えば、一九二七（昭和2）年四月、常夏は『関門日日新聞』記者として勤務中、社内で脳溢血のため倒れ療養生活に入り、その病床に集った地域の文学青年らと同年一〇月、『燭台』を創刊し、常夏は以後その編集に当たった。『燭台』は休刊や再刊を繰り返しながら一九三二（昭和7）年九月まで刊行が続けられる。その後一九三七（昭和12）年、常夏は妻静代と離別し、北九州小倉の愛人との生活に入り、一九三八（昭和13）年十月二九日、小倉で永眠する。四九歳であった。そして東京に戻った妻の吉田静代は、これらの回想録を書き残し、一九九二（平成4）年に一〇一歳で亡くなっている。

吉田常夏は『燭台』で、詩人として復活し数多くの詩作を発表することとなった。師にあたる河井醉茗は、常夏の詩への回帰を喜び繰り返し寄稿した。また編集者常夏は、中央文壇からの多くの寄稿者を獲得し誌面に賑わせている。表紙をプラトン社の図案家として知られた岩田専太郎や山名文夫に依頼して、同時代のモダニズム文化の雰囲気を与え、また、文藝春秋発行の雑誌『手帖』（一九二七（昭和2）年三月創刊）を模した「一ページ物原稿」欄も作られた。だが、その誌面構成は、『明星』『新聲』『文庫』などの明治30年代の詩歌を中心とした投書雑誌に近似しており、また各地に支部を設ける販路拡張や、投書家の交流を目的とした誌友会開催、「燭台清規」として投書家に示された投稿規定など、投書雑誌としての特徴が顕著に確認できる。『燭台』の大きな収穫としては玉井雅夫名義で執筆された九州若松の火野葦平の初期短篇を多く掲載したことが挙

げられるが、宇佐川正明・兼崎地橙孫などこの時期のやまぐちの文学者の名も目次には見出せる。こうした名に混じりながら夭折する金子みすゞの童謡や、まだ十代だった和田健の初期詩篇も掲載されていた。

吉田常夏の尽力によって、近代的な港湾都市下関から送り出された地方詩歌雑誌の気風は、やがて山口県の奥まった盆地にも伝播し、山口市の詩人たちを触発し、詩歌雑誌『詩園』（一九三八（昭和13）年九月創刊）が出版される。『燭台』の精神は『詩園』へと継承されながら戦後における〈やまぐちの文学〉の素地を形成していった。『詩園』は戦時下の後継誌『防長文学』（一九四三（昭和18）年十月 誌名変更）、『山口県文学』（一九四四（昭和19）年十月 諸雑誌との統廃合）、戦後の後継誌『文藝風土』（一九四五（昭和20）年十月 誌名変更）にまで連なっていく。

もちろん近代の山口県における地方文芸雑誌の起点を『燭台』のみに求めるべきではない。山口県近代文学年表作成委員会編『山口県近代文学年表』（一九七二（昭和47）年三月、山口県教育委員会）が伝えるように、明治期・大正期の山口県で、地方文芸雑誌は肉筆回覧や活版印刷で刊行されていた痕跡が明瞭だ。ただそのほとんどが現在、確認・閲覧できず、今後もその現存確認の調査は継続されるべきだ。ともあれ吉田常夏が残した『燭台』は、〈やまぐちの文学者〉たちの歩みを考えるうえで、少なくとも昭和期の展開における起点となる重要な雑誌だった。

『燭台』（第一巻第一号）昭和二年一〇月一日発行



【判型】縦220mm 横151mm

【奥付】

昭和二年九月廿五日印刷／昭和二年十月一日発行  
編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市竹崎町廿五番地 飯田甚蔵  
発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮  
印刷所 下関市竹崎町廿五番地 飯田活版所  
定価 三十銭

表紙(装幀) 山田猛  
短冊(筆蹟) 北原白秋  
挿画(三葉自刻) 山田猛  
カット(自画自刻) 常夏荘主人

まだ夜は深い(\*詩) 吉田常夏 1  
生えた眼、どちらへ(\*詩2篇) 加藤介春 2  
小指(\*小説) 野上浩司 4  
秋の影像(\*小説) 小笠原鬱 14  
月のパプティズム(\*小説) 乾一雄 22  
椿 自画自刻(\*挿画) 山田猛 27  
感傷ひとつ(\*小説) 山中倫 28  
美しき町、秋の歌(\*詩2篇) 米田俊郎 32  
梅雨あけ(\*詩) 西村直一 34

悲劇(\*詩) 脇坂開介 35  
常夏荘消息(\*書簡欄)  
女流作家の群れ(\*書簡) 河井醉茗 36  
防長文壇の為に(\*書簡) 毛利碧堂 38  
今年は危年(\*書簡) 福永漁 38  
故郷を憶ふ(\*書簡) 加藤雅胤 40  
都へ訪れた秋(\*書簡) 米田俊郎 41  
静物 自画自刻(\*挿画) 山田猛 43  
奈良嫩草山(\*短歌10首) 山本康夫 44  
つれづれの歌(\*短歌10首) 梅津一郎 44  
彼岸団子(\*短歌10首) 木下秀夫 45  
反射爐 X Y Z、A B C 46  
詩人の持つ放浪性(\*随筆) 田上耕作 48  
自殺追隨者(\*随筆) 松澤英一 51  
牛 自画自刻(\*挿画) 山田猛 53  
近詠十句(\*俳句10句) 杉山飛雨 54  
香盤集(\*詩欄) 55  
冬日明想、季節の思風(\*詩2篇) 山元史明／涙(\*詩1篇) あきらめ(\*詩1篇) 渚みちる／蛙(\*詩1篇) 安部みのる／籐椅子に忍びよる秋(\*詩1篇) 山本白村／春(\*詩1篇) 原敏／蜻蛉追ふ子、緑の虫(\*詩2篇) 山本春子／月(\*詩1篇) 村田鈴蘭／夕ぐれ、秋くれば(\*詩2篇) 青山緑魂／林檎(\*詩1篇) 菜香村静樹／流れ星(\*詩1篇) 相澤群子／走り雨(\*詩1篇) 田中保夫／雨にぬれて(\*詩1篇) 常磐すみれ／クロバー(\*詩1篇) 坂上天龍  
緋羅紗(\*短歌欄) 60  
長門峡探夏(\*短歌10首) 麓輝夫／紅茶(\*短歌2首) 清水瑞穂／胸を病みて(\*短歌3首) 久保律郎／酒(\*短歌3首) 宮内まつ子／湯田にて(\*短歌6首) 藻映子／「パラソル」(\*短歌5首) 隅田あさを／初秋(\*短歌4首) 三浦正美／秋寂し(\*短歌3首) 木本思水  
秋風句帖(\*俳句欄) 63  
(\*俳句10句) 室中甲児／(\*俳句8句) 西野紅鵲／(\*俳句3句) 吉田潤／(\*俳句8句) 竹内青山子／(\*俳句6句) 木本思水  
編輯後記 野上浩司、脇坂開介、常夏 60  
交響楽(\*投書15件) 65  
燭台清規、奥付 68  
※後ろ表紙に北原白秋自筆短冊の写真版をあしらう。

『燭台』（第一巻第二号）昭和二年十一月一日発行



【判型】縦221mm 横150mm

【奥付】

昭和二年十月二十五日印刷／昭和二年十一月一日発行

編輯兼發行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市竹崎町廿五番地 飯田甚蔵

發行所 下関市上田中町一三五三 燭臺詞寮

印刷所 下関市竹崎町廿五番地 飯田活版所

定価三十銭

表紙(装幀) 山田猛

短冊(筆蹟) 土岐哀果

お化粧(自画自刻) 山田猛

梅花集(自画自刻) 久野富士子 藤井初枝 高橋小萩 日高たえ子 高滋美 竹内千鶴

短冊解説 土岐哀果 1

朱罨の詩箋(\*詩6篇「冬」「薔薇の花」「煙」「涙」「恋」「我妹子」「二行詩草」) 吉田常夏 2

制服(\*小説) 松井静代 6

血に座る(\*小説) 野上浩司 12

英作の偏癡(\*小説) 高島融雄 19

お化粧(自画自刻)(\*挿画) 山田猛 23

雨の心理(散文詩)(\*詩) 米田俊 24

裝飾窓(\*詩5篇「裝飾窓」「君が名」「散つた桐の葉」「秋の星」「入日(童謡)」) 脇坂開介 26

反射爐 28

梅光集 壺(自画自刻)(\*挿画) 久野富士子 30

老鴉瓜(\*俳句10句) 八谷阜鷄 30

梅光集 壺(自画自刻)(\*挿画) 藤井初枝 31

月の海(\*俳句10句) 中尾呂月 31

燭台詩寮消息(\*16名) 32

河井醉茗／西條八十／生田花世／生田蝶介／兼崎地橙孫／久保白船／名古家孝一／河村幸次郎／宇野逸夫／若槻琢一／米田俊／田上耕作／林歌津路／行村義夫／吉田美德／柳葉子

各新聞社評(\*3紙) 35

大阪朝日山口版／門司新報／馬関毎日新聞

峡の海 その他(\*短歌11首) 山田たくみ 36

旅情断片(\*短歌13首) 木下秀夫 37

関門俳壇記(\*随筆) 36

秋の蝶(\*俳句11句) 田中慧星子 38

木の実(\*俳句10句) 白井米関 39

秋十題(\*俳句10句) 室中甲児 39

情熱の骸(\*詩1編) 三谷忠義 40

十月の朝(\*詩1編) 稲葉梅尼 41

梅光集 みづさし 自画自刻(\*挿画) 高橋小萩 42

梅光集 路 自画自刻(\*挿画) 日高たえ子 43

梅光集 水さしと花 自画自刻(\*挿画) 高慈美 44

梅光集 瓶 自画自刻(\*挿画) 竹内千鶴 45

若紫集(\*詩欄) 42

さようなら(\*詩1篇)相澤群子／晩秋(\*詩1篇)常盤すみれ／陽光、かへらぬ君、小景(\*詩3篇)山本春子

プロプリズム(\*随筆) 品川頼道 46

断片(\*随筆) 木本白汀花 48

月宵日記(\*随筆) 藤山青鳥 50

焰の華(\*詩) 52

秋の雨(\*詩1篇)今田ひさし／小道(\*詩1篇)高島融雄／海の幻想(\*詩1篇)利根寿美子／泡よりも(\*詩1篇)水戸國顕／俵山温泉(\*詩1篇)田中保夫／血(\*詩1篇)岩崎ひさを／彼女の女は(\*詩1篇)角田啓輔／秋(\*詩1篇)隅田みつよし／秋ふく風(\*詩1篇)青山緑魂／暁の街上(\*詩1篇)手島翠波／虫の声(\*詩1篇)江村不死男／秋(\*詩1篇)工藤登

志男／幸福の夜(\*詩1篇) 蓑田秀郎／新妻(\*詩1篇) 涓しげる／帰村(\*詩1篇) 毛利政市／破れ靴(\*詩1篇) 寺田友一

貝細工(\*短歌欄) 57

秋の花束(\*短歌8首) 柳葉子／逝き君へ(\*短歌6首) 三浦正美／秋日低唱(\*短歌5首) 西村薫花／をりにふれて(\*短歌6首) 長坂重光／秋雑詠(\*短歌6首) 岩本哀汐／島の家(\*短歌5首) 木本思水／柿の実(\*短歌2首) 津田秋津志／「コスモス」(\*短歌3首) 隅田あさ夫

穂すすき(\*俳句欄) 60

(\*俳句7句) 竹内青山人／(\*俳句4句) 安部秋村／(\*俳句3句) 隅田みつよし／(\*俳句3句) 岩本哀汐  
編集後記 脇坂開介、野上浩司、吉田常夏 57

一葉集

一ページ物原稿宣言 61

燭台二号感想欄 62

心(\*詩) 生田春月 63

明治節奉頌謹詠(\*俳句8句)、秋風篇(\*俳句9句) 杉山飛雨 64

冬夜子を抱く(\*俳句10句) 兼崎地橙孫 65

秋冷青綺館情史(\*小説) 山永倫 66

多摩川(\*長歌1首、短歌9首) 山本康夫 67

後の月(\*俳句10句) 一木禾堂 68

病的な夜(\*詩) 西村直一 69

姫島より(\*随筆) 岡本多香子 70

海峡の夜(\*詩) 岩本泉里 71

燭台清規、奥付 72

※後ろ表紙に土岐哀果自筆短冊の写真版をあしらう。

『燭台』(第一巻第三号)昭和二年一月一日発行



【判型】縦222mm 横151mm

【奥付】

昭和二年十一月二十五日印刷／昭和二年十二月一日発行

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市竹崎町廿五番地 飯田甚蔵

発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺詞寮

印刷所 下関市竹崎町廿五番地 飯田活版所  
定価三十銭

表紙(装幀)	山田猛
短冊(筆蹟)	前田夕暮
花瓶(巻頭自刻)	広澤好子
聖夜(自画自刻)	藤永貞男
水辺(自画自刻)	藤永貞男
目つむり人形(童謡自作自刻)	山田猛

短冊解説 前田夕暮 1

聖夜 自画自刻(\*挿画) 藤永貞男 2

月影微韻——ある女の人の印象——(\*詩) 生田花世 2

朝の窓(\*短歌9首、妻を泣かしむ4首、竹に対し

て5首) 生田蝶介 4  
 薊花(\*詩) 玉井雅夫 6  
 白木蓮花(琴唄)(\*詩) 玉井雅夫 6  
 見合ひ(\*小説) 佐野操 8  
 或夜の遊戯(\*小説) 野上浩司 11  
 反射爐 14  
 水辺(自画自刻)(\*挿画) 藤永貞男 16  
 黄銀杏(\*俳句10句) 兼崎地橙孫 17  
 秋日行(\*俳句8句) 久保白船 17  
 多摩御陵(\*短歌12首) 山本康夫 18  
 秋陽(\*短歌10首) 木本白汀 18  
 父のみたまに捧ぐ(\*短歌11首) 石川香村 19  
 河豚宿(\*俳句6句) 日原方舟 20  
 真葛(\*俳句10句) 原波朗 20  
 日南ぼし(\*俳句9句) 一木禾堂 21  
 小春(\*俳句9句) 梅田磐翠 21  
 句帖より(\*俳句8句) 藤田斐不美 22  
 焚火(\*俳句8句) 田中彗星子 22  
 草紅葉(\*俳句8句) 堂山破菜 23  
 冬ごころ(\*俳句7句) 室中甲児 23  
 続関門俳壇記(\*随筆) 老漁史 20  
 変態真理(\*随筆) 平尾更二 23  
 目つむり人形(自作自刻)(\*詩、挿画) 山田猛 24  
 クリスマス、道芝(\*詩2篇) 脇坂開介 25  
 小さな旅の印象(散文詩)(\*詩) 米田俊 26  
 夜の裏町、酔歩哀唱(\*詩2篇) 岩本泉里 28  
 黄金杯(\*詩欄) 29  
 少女に与ふ、橋梁(\*詩2篇) 山本榕二/秋晴れの或日(\*詩1篇) 西村直一/蝙蝠(\*詩1篇) 福島利通/死と虫と、牡丹(\*詩2篇) 板倉充/港街の風景(\*詩1篇) 池田順介/夜の詩人、葬式(\*詩2篇) 稲葉梅尼/愁ひ、涙、落葉(\*詩3篇) 山本はる子/影、かへり路(\*詩2篇) 相澤群子  
 櫛の葉(\*短歌欄) 33  
 日曜日(\*短歌5首) 平井きよ子/秋ゆく頃(\*短歌3首) 山本美壽代/朝の日(\*短歌3首) 藤永花子/牛(\*短歌3首) 紺田照子/白菊(\*短歌3首) 永積安子/秋日(\*短歌2首) 三隅千鶴/希望(\*短歌2首) 斉藤たまの/長命菊(\*短歌6首) 園路重子  
 山本氏の歌(\*随筆) 木本白汀花 33  
 紫の房(\*詩欄) 35  
 旅人(\*詩1篇) 多田白夢/秋より冬へ(\*詩1篇) 清水只夫/印象(石井漢氏の舞踏を観て)(\*詩1篇)

坪田唄之助/神は(\*詩1篇) 高木信一/山路小情——荒神山なるK君に——(\*詩1篇) 山本秀雄/はつちやん、三歳(\*詩2篇) 福池みさ緒/入江に立つわが影(\*詩1篇) 小泉喜代一/胸に秘めて、接吻(\*詩2篇) 安部緋紗夫/長い雨(\*詩1篇) 有馬林麓/辻馬車(\*詩1篇) 津田秋津志/空馬車(\*詩1篇) 田中保夫/灰色、星の数(\*詩2篇) 常盤すみれ/秋深む(\*詩1篇) 清家清/気力はある(\*詩1篇) 出口繁敏/星(\*詩1篇) 坂上比良志/ひるの月、青春(\*詩2篇) 藤井喜作/やめる心(\*詩1篇) 花田貞雄/獣想(\*詩1篇) 松尾健槌/神との対活(\*詩1篇) 岩崎ひさを/クローバアの丘(\*詩1篇) 登根壽美子/恵まれたる銭(\*詩1篇) 水戸國顯/ある学校下(\*詩1篇) 工藤登志男/薔薇(\*詩1篇) 丘野白百合 二十八宿(\*短歌欄) 39  
 早鞆の瀬戸(\*短歌8首) 岩本哀汐/黄昏(\*短歌6首) 松尾健槌/紅葉(\*短歌4首) 竹内青山人/綾羅木にて(\*短歌4首) 長坂重光/夕暮れ(\*短歌3首) 山本春子/蟻螂(\*短歌3首) 角田啓輔/このごろ(\*短歌3首) 安倍秋村/白砂哀唱(\*短歌5首) 藤井喜作/吾子生まる(\*短歌4首) 西村薫花/漁村の憂鬱(\*短歌3首) 津田秋津志/稲刈(\*短歌4首) 西村紅鵲/愚恋(\*短歌3首) 大野勇/晩秋雑詠(\*短歌4首) 木本思水/愛し子(\*短歌3首) 三浦正美/狂ひし妹(\*短歌3首) 山本博木  
 玉あられ(\*俳句欄) 42  
 (\*俳句7句) 竹内青山人/(\*俳句7句) 中住きく女/(\*俳句6句) 宮脇星子/(\*俳句9句) 濱浦かつ女/(\*俳句4句) 隅田みつよし/(\*俳句3句) 西村薫花/(\*俳句3句) 板倉充/(\*俳句2句) 小西君女/(\*俳句1句) きよし/(\*俳句2句) 中田季雄/(\*俳句2句) 松尾健槌/(\*俳句5句) 藤野いね之介/(\*俳句3句) 木本思水/(\*俳句3句) 安部秋村/中島山小集(\*俳句3句) かつ女、きく女、彗星子/清風社同人句集(\*俳句9句)  
 編輯後記 脇坂開介、野上浩司 44  
 詞寮消息(\*通信文) ノンブル外  
 生田蝶介/杉浦翠子/山本平八/西口紫溟/玉井雅夫/河村幸次郎/吉田美徳  
 交響楽(\*通信文) ノンブル外  
 板倉充/山本秀雄/木本思水/佐々木幹夫/安部生/津田厚志  
 花一束序 一ページ物原稿趣旨 ノンブル外  
 感想欄 ノンブル外

車中感傷(\*随筆) 正岡蓉 45  
 白き豆菊(\*短歌12首) 山田たくみ 46  
 紅葉茶屋(\*俳句10句) 中尾呂月 47  
 飼犬(\*短歌16首) 河村幸次郎 48  
 艶なき醜女(\*随筆) 山永倫 49  
 枯れゆく尾花(\*短歌13首) 梅津一郎 50  
 この頃の句会より(\*俳句10句) 勝間平和堂 51  
 相思(\*短歌5首) 岡本多香子 52  
 秋に病む(\*詩) 今田久 53  
 影絵行燈紅涙余録の三(\*随筆) 福島南国 54  
 人間の姿(\*詩) 三谷忠義 55  
 かづら下地(\*短歌15首) 五月信子 56  
 枯落葉(\*川柳10句) 大津十九夜 57  
 温泉岳吟行(\*俳句10句) 西尾其桃 58  
 病床七情(詩百章) (「秋風哀歌」「貧しき家」「母よ妻よ子よ」「感涙篇」「霊葉の壺」「哀しき友情」「酒の解脱」) 吉田常夏 59  
 燭台清規、奥付 74  
 ※後ろ表紙に前田夕暮自筆短冊の写真版をあしらう。

『燭台』(第二巻第一号)昭和三年一月一日発行



【判型】縦220mm 横150mm

【奥付】

昭和二年十二月廿五日印刷／昭和三年一月一日発行  
 編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開

介  
 印刷人 下関市竹崎町廿五番地 飯田甚蔵  
 発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺  
 詞寮  
 印刷所 下関市竹崎町廿五番地 飯田活版所  
 定価三十五銭

表紙(装幀) 山田猛  
 短冊(筆蹟) 与謝野晶子  
 龍の壺(二色版) 山本光羊  
 霧(二色版) 続渉  
 探求(自画自刻) 一木潤  
 人魚(自画自刻) タケ・ヤマダ  
 ニイルの神(自画自刻) 藤永貞男

龍を描いた壺(\*口絵、二色版) 山本光羊筆、内藤治郎製版 ノンブル外

母(\*詩) 脇坂開介 ノンブル外

霧(\*口絵、二色版) 続渉撮影、内藤治郎製版 ノンブル外

龍王(\*詩) 吉田常夏 1

探求(自画自刻) 一木潤 2

女の手(\*詩) 河井醉茗 2

近作三篇(\*詩3篇、「泉」「想像」「夜ふけ」) 服部嘉香 4

関門海峡印象(\*随筆) 6

若山牧水／南部修太郎／橋田東聲／林房雄／畑耕一／片上伸／安成二郎／大泉黒石

詩五章(\*詩5篇、「風」「無」「処女」「或る女に」「冬」) 加藤介春 8

割引(\*小説) 馬場武 10

十一月の海景(\*小説) 玉井雅夫 14

死相(\*小説) 野上浩司 19

人魚(自画自刻)(\*挿画) タケ・ヤマダ 25

反射爐 26

近詠十句(\*俳句10句) 鈴木花蓑 28

葱の香(\*俳句10句) 乃木禾風居 28

冬十句(\*俳句10句) 鈴木伸堂 29

歳旦抄(\*俳句10句) 中村指月城 29

初荷(\*俳句10句) 八谷臯鷄 30

丘の畑、古泉千樫氏を悼む(\*短歌10首) 馬場静浪 31

潮ぐもり(\*短歌5首) 土居静男 31

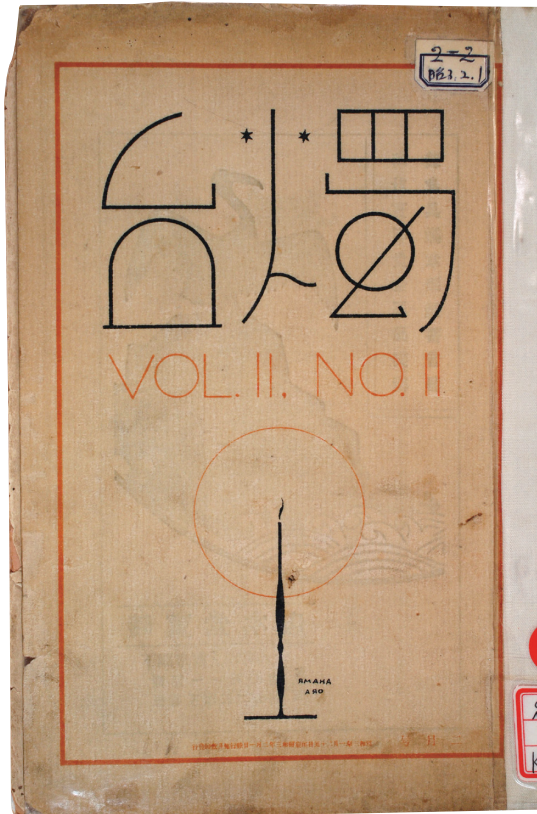
月、冬の散策(\*詩2編) 岩本泉里 32

- ひつぎにつゝく（\*詩） 阿南哲朗 33  
 静海図（\*詩） 板倉充 34  
 冬のかなしみ（\*詩） 三谷忠義 35  
 天柱（一幕三場）（\*戯曲） 野津成好 32  
 六代卿（二幕三場）（\*戯曲） 和田政雄 36  
 若き日の信長（\*小説） 福池みさ緒 44  
 初冬（\*俳句10句） 久保白船 50  
 枯木（\*俳句5句） 恒成鳴石 50  
 山火事（\*俳句5句） 田中彗星子 50  
 破魔弓（\*俳句5句） 原波朗 51  
 吾子病む（\*俳句7句） 兼崎地橙孫 51  
 日光にて（\*短歌13首） 山本康夫 52  
 師走の閑（\*短歌12首） 山田たくみ 52  
 霜枯葉（\*短歌11首） 梅津一郎 53  
 ふゝめる蕾（\*短歌7首） 齋藤閑子 54  
 吾子の歌（\*短歌8首） 三増美歌子 54  
 新春雑詠（\*短歌8首） 木本白汀 55  
 旅路なかばに（\*短歌6首） むめさき・よしと 55  
 燭臺の下にて（\*随筆） 残拙痴叟 52  
 四季さまざま（\*俳句10句） 関谷青山 56  
 人影の巡る瓶（\*俳句10句） 藤田非不美 56  
 ニイルの神（自画自刻）（\*挿画） 藤永貞男 57  
 最近の感想（\*随筆） 58  
 白鳥省吾／須藤鐘一／佐藤惣之助／水守亀之助／福  
 士幸次郎／生田蝶介／前田夕暮／長田幹彦／生田花  
 世  
 青い灯（\*短歌欄） 60  
 夜の関門海峡（\*短歌6首）岩本哀汐／冬の山路（\*  
 短歌8首）山本みす代／哀恋秘唱（\*短歌3首）平井  
 清子／燈（\*短歌7首）宮藤充二／福岡行（\*短歌7  
 首）園路重子／夕浜（\*短歌4首）田門静江／時雨（\*  
 短歌2首）三隅千鶴／子供（\*短歌2首）永積安子／  
 暖炉（\*短歌3首）三浦正美／落葉（\*短歌5首）木本  
 思水／巖島神社（\*短歌4首）桜芳枝／秋（\*短歌4  
 首）藤井喜作／砂浜（\*短歌3首）久保律郎／折々の  
 歌（\*短歌4首）田中重光／逢ひたる師（\*短歌4首）  
 藤井青果／黒髪（\*短歌3首）秋山美佐雄／電車（\*  
 短歌2首）江村不死男／処女（\*短歌2首）夏川美奈  
 子／月見草（\*短歌3首）大野勇／冬日（\*短歌3首）  
 藤永花子／孤子（\*短歌2首）松旭由里／小夜（\*短  
 歌2首）吉富静波  
 初日の出（\*俳句欄） 63  
 （\*俳句8句）井田有杜史／（\*俳句1句）濱浦かつ女  
 ／（\*俳句4句）伊勢朝熊山／（\*俳句2句）板倉嘯秋  
 ／（\*俳句5句）藤野いね之介／（\*俳句4句）木本思  
 水／（\*俳句2句）工藤登志男／（\*俳句4句）隅田み  
 つよし／（\*俳句5句）北上次郎  
 金燭銀燭（\*詩欄） 64  
 恋慕小曲拾篇（\*詩1篇）西村直一／指（\*詩1篇）大  
 野勇／小曲（\*詩1篇）木本白汀花／枇杷の花（\*詩  
 1篇）坪田潤一露／私（\*詩1篇）相澤群子／別れ（\*  
 詩1篇）藤井喜作／恋人、娼婦（\*詩2篇）北上次郎  
 ／トランプ、炭火（\*詩2篇）山本春子／おぼろ月（\*  
 詩1篇）多田白夢／淋しさ、希臘の女神（\*詩2篇）  
 安部緋紗夫／湯屋の娘（\*詩1篇）津田秋津志／秋の  
 陶酔（\*詩1篇）清家清／枯すすき（\*詩1篇）篤史耕  
 夫／ピアノ弾く女（\*詩1篇）村上明  
 蠟淚集（\*詩欄） 69  
 レター（\*詩1篇）坂上血秋／秋の消閑（\*詩1篇）山  
 本秀雄／秋は去る（\*詩1篇）工藤登志男／過し日  
 （\*詩1篇）冬木美雄／日記（\*詩1篇）角田金絲雀／  
 波紋（\*詩1篇）北川初男／孤独者の詩（\*詩1篇）秋  
 山美佐雄／奇蹟の瞳（\*詩1篇）青山緑魂／ゆく年に  
 （\*詩1篇）常盤すみれ／流星（\*詩1篇）出口繁数／  
 恋（\*詩1篇）岡野玉蓮／たはむれ（\*詩1篇）田中保  
 夫／醜き故に（\*詩1篇）北原清／荒みし心（\*詩1  
 篇）今田狂子／お月さま、ぼろりあめ、なんきんだ  
 ま（\*詩3篇）吉田生緒  
 編輯後記 脇坂開介、岩本泉里、野上浩司 72  
 詞寮消息（\*通信文） ノンブル外  
 佐々木巽／岡本多香子／河井醉茗／玉井雅夫／生田  
 蝶介／久保白船／平川春舟／田中重光／島村量三／  
 山本光羊／木本思水／弘中晴恵／五月信子／田上耕  
 作／林歌津路／山下寛治／角田金糸雀／村上明／吉  
 田美徳  
 花一莖序 一ページ物原稿趣旨 73  
 燭台第一号 愛読者感想欄 74  
 深夜の人（\*随筆） イナガキ・タルホ 75  
 ふくらふ（\*俳句7句）佐々木巽 76  
 病む友に（\*短歌5首） 木下友敬 77  
 瞳（\*詩） 米田俊 78  
 いとしあが子（\*短歌12首） 石川香村 79  
 雑詠（\*俳句10句） 一木禾堂 80  
 芸術上のスタイル（\*随筆） 加藤雅胤 81  
 秋と冬（\*俳句10句） 豊田糸船 82  
 矢車草（\*短歌5首） 岡本多香子 83  
 初明り（\*俳句8句） 勝間平和堂 84  
 自我持参（\*随筆） 山永麟 85



芦吹く風(\*短歌10首) 弘中晴恵 86  
 句帳より(\*「浅い春」俳句5句、「金と笑ひ」川柳6句) 高木進一路 87  
 新妻(\*川柳10句) 大津十九夜 88  
 ノスタルヂヤ(\*詩) 藤井露平 89  
 冬川(\*俳句5句) 財満枕流 90  
 郷訪篇(口語歌)(\*短歌17首) 山下寛治 91  
 返り花(\*俳句6句) 平川春舟 92  
 制服後記(\*感想) 松井静代 93  
 椎の雨(\*短歌3首) 竹内薫兵 94  
 燭台清規、奥付 95  
 ※後ろ表紙に与謝野晶子自筆短冊の写真版をあしらう。

『燭台』第二巻第二号(昭和三年二月一日発行)



【判型】縦227mm 横157mm

【奥付】

昭和三年二月廿五日印刷／昭和三年二月一日発行  
 ※印刷月は誤植  
 編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介  
 印刷人 下関市竹崎町廿五番地 飯田甚蔵  
 発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺詞寮

印刷所 下関市竹崎町廿五番地 飯田活版所  
 定価三十銭

表紙(装幀) 山名文夫  
 色紙(筆蹟) 河井醉茗  
 山色新(二色版) 末光一郎氏所蔵  
 富士山(二色版)  
 似顔(二色版) 新井よし友  
 アトリエ(自画自刻) タケ・ヤマダ  
 舞楽(自画自刻) 世良立雄

末光一郎氏所蔵の鏢(\*口絵、二色版) ノンブル外  
 山色新(\*詩) 吉田常夏 ノンブル外  
 富士山(\*口絵、二色版) ノンブル外  
 山の雪、雪(\*詩2篇) 脇坂開介 ノンブル外  
 いはひな(\*詩) (無署名) ノンブル外  
 木下友敬博士の似顔(\*口絵、二色版) 新井よし友  
 アトリエ(自画自刻)(\*挿画) タケ・ヤマダ 1  
 霜夜抄(\*短歌7首) 橋田東聲 2  
 津軽海峡にて(\*短歌8首) 生田蝶介 3  
 魚の葬礼(\*小説) 玉井雅夫 4  
 振子(\*翻訳) オー・ヘンリー 賀久明訳 10  
 青い眼のなかで(\*小説) 家安弘 14  
 反射爐 18  
 松の内(\*俳句8句) 佐々木巽 20  
 冬溝(\*俳句8句) 中尾呂月 20  
 きさらぎ(\*俳句8句) 中村指月城 21  
 初鷄(\*俳句8句) 杉村飛雨 21  
 このごろ(\*詩) 池田順介 22  
 水は生きてゐる(\*詩) 山本榕二 22  
 お茶、声(\*詩2篇) 阿南哲朗 23  
 丘に坐して(\*詩) 萩野健二郎 24  
 壺(\*詩) 高田潤之介 25  
 脇坂開介氏論(燭台の人々一)(\*随筆) 板倉充 22  
 獨語(\*随筆) 高島電子 23  
 新年雑詠(\*俳句8句) 兼崎地橙孫 26  
 冬心(\*俳句8句) 板倉嘯秋 26  
 流星(\*俳句6句) 今田狂子 27  
 冬の写生(\*俳句10句) 久保白船 27  
 舞楽(自画自刻)(\*挿画) 世良立雄 28  
 受難(\*戯曲) 木下秀夫 29  
 六代郷(三幕四場)(\*戯曲) 和田政雄 36  
 東都風信(\*随筆) 加藤雅胤 44

旅のうた(\*短歌8首) 山田たくみ 46  
新春起居(\*短歌8首) 山中茂樹 46  
豌豆の花(\*短歌8首) 木本白汀花 47  
短歌八首(\*短歌8首) 麻生茂一 47  
津屋崎雑詠(\*短歌8首) 出口繁数 48  
小鳥の歌(\*短歌8首) 石川香村 48  
光をのぞみて(\*短歌8首) 齋藤閑子 49  
冬ちかき頃(\*短歌8首) 山本康夫 49  
寒雀(\*俳句欄) 50  
(\*俳句10句)一木禾堂/(\*俳句8句)三宅今年竹/  
(\*俳句5句)恒成鳴石/(\*俳句8句)原波朗/(\*  
俳句7句)田中桂香/(\*俳句8句)辻元水城子/(\*  
俳句6句)室中甲児/(\*俳句6句)澤田玉湖/(\*俳  
句7句)田中彗星子/(\*俳句5句)小田筑城/(\*俳  
句4句)門田克巴  
葉書二片(\*書簡) 杉山飛雨 50  
紅梅林(\*短歌欄) 54  
糞する頃(\*短歌6首)岩本哀汐/冬がれ(\*短歌8  
首)木本思水/初日(\*短歌5首)山本みす代/新春  
雑詠(\*短歌5首)井上雄二/春近し(\*短歌5首)久  
保律郎/秘調(\*短歌4首)恵波紀世子/旅(\*短歌  
6首)林英二/凧しの夜(\*短歌5首)奈良田深静/  
冬季雑詠(\*短歌5首)田邊白謠/梅(\*短歌5首)西  
村薫花/シヤボン玉(\*短歌5首)秦銀杏/雀(\*短  
歌4首)中川芳江  
詞寮歌会の記(一) 54  
玉壺(\*詩欄) 58  
晩秋(\*詩1篇)麻生茂一/空(\*詩1篇)廣井詩杜美  
/初冬素描(\*詩1篇)西村直一/魚の光り(\*詩1  
篇)後藤哀子/御応へ(\*詩1篇)稲葉梅尼/盲目の  
女、スモール(\*詩2篇)芳呂志/水(\*詩1篇)山本  
春子/吸取紙、手(\*詩2篇)角田金絲雀/孤独、冬  
の心(\*詩2篇)高木信一/昼の月、粉雪(\*詩2篇)  
相澤群子/曲馬団にて(\*詩1篇)長沼博文/幻滅の  
幌馬車(\*詩1篇)清家清/病床(\*詩1篇)田中保夫  
/唇(\*詩1篇)大野勇/北風よ(\*詩1篇)江村不死  
男  
つらゝ集(\*短歌欄) 63  
冬雑詠(\*短歌4首)近信康登/雀(\*短歌6首)角田  
金絲雀/花瓶(\*短歌3首)田門静江/永雨(\*短歌  
1首)永積ヤス子/淋しさ(\*短歌2首)水崎妊子/  
母(\*短歌1首)越後屋きく/子守(\*短歌1首)三輪  
妙子/口語歌雑詠(\*短歌3首)西村蘭津浪/日和山  
(\*短歌3首)隅田朝夫/落葉の歌(\*短歌4首)越水

武夫/冬(\*短歌3首)應賀十七/母む空(\*短歌3  
首)有田直敷/寒を思ふ(\*短歌3首)大野勇/初春  
(\*短歌4首)藤本貞治/アカシヤ(\*短歌3首)川田  
茂馬/春のうた(\*短歌3首)藤井青果/病める母  
(\*短歌2首)麻野重隆/四王司山初詣(\*短歌3首)  
縄田平三郎/淋しき心(\*短歌3首)萱村敏/友(\*  
短歌2首)原野夜詩緒  
梅月夜(\*俳句欄) 66  
(\*俳句7句)井田有杜史/(\*俳句6句)竹内青山人  
/(\*俳句7句)濱浦かつ女/(\*俳句7句)中住きく  
女/(\*俳句3句)中田季雄/(\*俳句4句)北上次郎  
/(\*俳句2句)山田美枝三/(\*俳句1句)中村勇/  
(\*俳句4句)西山三枝/(\*俳句5句)萱島風鼓/  
(\*俳句4句)波多野正雄/(\*俳句2句)鹿野重隆/  
(\*俳句3句)藤本貞治/(\*俳句3句)西村蘭津浪/  
(\*俳句4句)隅田長洲/(\*俳句2句)高田路泉  
編輯後記 脇坂開介 68  
(\*詩欄) ノンブル外  
快活な風景(\*詩1篇)阿川芳雄/君が帰りを待ちて  
(\*詩1篇)藤野富盛雄/夢の世ぢやもの(\*詩1篇)  
田中重兄/情炎(\*詩1篇)古長篤巳/冷い日(\*詩  
1篇)岡崎楓子/冬の小景(\*詩1篇)若月俊夫/若  
き日(\*詩1篇)有田直敷/冬の夜空に(\*詩1篇)海  
せんり/建つ家(\*詩1篇)西文路/涙(\*詩1篇)北  
上次郎/裸女(\*詩1篇)村上明/妹の思ひ出(\*詩  
1篇)鹿野重隆/君(\*詩1篇)大熊義一/痛む心(\*  
詩1篇)乃岳白百合/民謡『きつね』(\*詩1篇)入  
江瀬津緒  
一輪草序 一ページ物原稿趣旨 附けたり値上の事  
69  
燭台二月号感想欄 70  
燭台(\*挿絵) 山名文夫 71  
故郷を最後に(\*随筆) 辻潤 72  
風のおと(\*短歌10首) 釋超空 73  
初鏡(\*俳句8句) 青木月斗 74  
雪(\*短歌7首) 弘中晴恵 75  
河豚汁(\*俳句11句) 豊田糸船 76  
二月の悦び(\*詩) 坪田潤一露 77  
各人各説(\*随筆) 東潤 78  
詞寮歌会の記(二) ノンブル外  
投稿家諸君に ノンブル外  
燭台清規、奥付 ノンブル外  
※後ろ表紙に河合醉茗自筆色紙の写真版をあしらう。

『燭台』第二卷第三号(昭和三年三月一日発行)



【判型】縦220mm 横150mm

【奥付】

昭和三年二月廿五日印刷／昭和三年三月一日発行  
編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介  
印刷人 下関市西南部町七十八番地 泉菊太郎  
印刷所 下関市東南部町百十五番地 泉菊工場  
発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺詞寮  
定価三十五銭

表紙(石版) 山名文夫  
作曲(裏表紙) 藤山一雄  
太湖船(創作版画) 世良立雄  
カット(凸版) 山名文夫  
カット(自画自刻) 藤永貞男

御挨拶 主宰者となつて 吉田常夏 1  
一つ星序 一頁物後援原稿趣旨 2  
蟹舟(\*俳句7句) 佐々木巽 3  
伝書鳩 或る喜劇の一節(\*小説) 加藤雅胤 4  
生命の酒(\*短歌12首) 木下秀夫 5  
軍隊小曲(\*詩) 玉井雅夫 6  
唇(\*短歌5首) 岡本多香子 7

春さりくれば(\*随筆) 三増美歌子 8  
思慕哀唱(\*詩) 林歌津路 9  
密柑(\*俳句5句) 財満枕流 10  
ある時の旅 詩人でない詩人の詩(\*詩) 犀河泗牛 11  
詩集・ひこばえ・の中から(\*短歌16首) くどう・ひさし 12  
おくすりとり(\*詩) 三谷忠義 13  
赤い心(\*短歌5首) 三浦正美 14  
青麦十句(\*俳句10句) 藤井素仙 15  
春の恨み(\*俳句7句) 藤野いね之介 16  
旅愁(口語歌)(\*短歌17首) 山下寛治 17  
習作(\*短歌7首) 木本俊二 18  
・わかれ・小曲(\*詩) 白根弑郎 19  
形而上月学(\*小説) 乾一雄 20  
秋風(\*短歌10首) 田中英太郎 21  
鳥追(\*俳句10句) 岡本圭岳 22

養子 —— 発見された書簡 —— (\*書簡) 国木田独歩 23

その頃 —— 兄弟の生活 —— (\*書簡) 国木田収二 25

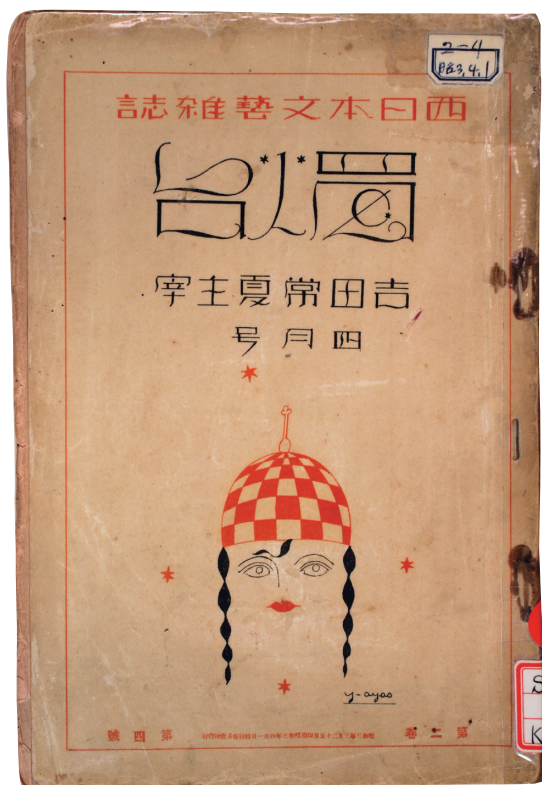
遺墨入手由来(\*随筆) 松井静代 23  
沼・冬の散文(\*詩) 米田俊 28  
首春麗日(\*詩) 萩野健二郎 30  
春寂し(\*詩) 坪田潤一露 30  
春うごく(\*詩) 山本榕二 31  
春来る(\*詩) たのうゑ・こうさく 32  
年老ひし母 —— 雨の日……芝居見帰りの母をむかへて —— (\*詩) 阿南哲朗 33  
痴人の言葉(\*随筆) 内田かをる 30  
蝙蝠(\*詩) 西村直一 33  
明石行電車にて(\*小説) 山永麟 34  
友人の妻(\*小説) 高島融雄 38  
太湖船(自画自刻)(\*挿画) 世良立雄 43  
わがことに対ひて(\*短歌8首) 山本康夫 44  
近詠抄(\*短歌8首) 宇佐川紅萩 44  
霜夜月(\*短歌8首) 山田たくみ 45  
吾子(\*短歌8首) 梅津一郎 45  
吾児(\*短歌8首) 中川芳江 46  
東亜博覧会(\*短歌8首) 齋藤閑子 46  
折にふれて(\*短歌8首) 石川香村 47  
あらし(\*短歌8首) 山中茂樹 47  
反射爐 48

春昼(\*俳句10句) 一木禾堂 50  
 火桶(\*俳句6句) 恒成鳴石 50  
 春の雪(\*俳句2句) 越野麦存 50  
 春の雪(\*俳句5句) 室中甲児 51  
 小春(\*俳句5句) 堂山破菜 51  
 立春(\*俳句3句) 神松籟 51  
 下萌(\*俳句7句) 門田克巴 52  
 水温む(\*俳句6句) 伊藤春外套 52  
 竹馬(\*俳句5句) 田中麦右 52  
 詞寮句会の記(\*随筆) 田中麦右 50  
 村の踏切番(\*戯曲) 津田厚志 53  
 昇る月(一幕一場)(\*戯曲) 三浦豪 58  
 失はれた情念の錆びた音楽(\*詩) 高田潤之介 62  
 大地(自画自刻)(\*詩、挿画) 大野勇 63  
 櫛の実(\*俳句8句) 久保白船 64  
 句十(\*俳句10句) 麻生茂一 64  
 小さい凧(\*俳句10句) 板倉嗤秋 64  
 五唱(\*俳句5句) 西村蘭津浪 65  
 冬麗(\*俳句10句) 北上次郎 65  
 暁の雨(\*俳句6句) 兼崎地橙孫 65  
 (\*詩欄) 66  
 酒(\*詩1篇)今田久/炭火(\*詩1篇)角田金絲鳥/  
 朝顔(\*詩1篇)藤井正恵夫/ソリ・タリー(\*詩1篇)  
 村尾里火/星夜秘曲(\*詩1篇)田中重光/帰郷(\*詩  
 1篇)西村蘭津浪/小曲(\*詩1篇)松尾健次郎/愛の  
 クライマックス(\*詩1篇)田中千三郎/春の予感(\*  
 詩1篇)阿川芳雄/冬の断章(\*詩1篇)鳥井完/小曲  
 (\*詩1篇)楠野攸甫/子鳩(童謡)(\*詩1篇)福田ほ  
 づ實/見知らぬ人、青き夜に(\*詩2篇)平澤千代子  
 /あの人(\*詩1篇)常盤すみれ/手(\*詩1篇)山本  
 春子/愛情の性質(\*詩1篇)相澤群子/此頃の私(\*  
 詩1篇)北川笑鬢花/悔(\*詩1篇)西森橘子/思ひ出  
 (\*詩1篇)登根寿美子  
 ひゝな草(\*短歌欄) 72  
 桃色の齒磨粉(\*短歌7首)秦銀杏/むらぎも(\*短  
 歌5首)出口繁数/冬より春へ(\*短歌8首)松本真  
 砂路/病床吟(\*短歌7首)野々宮かずみ/麻布の家  
 にて(\*短歌5首)恵波紀世子/高尾山(\*短歌6首)  
 平井清子/つめたき春(\*短歌5首)田島青透/雑詠  
 (\*短歌4首)萱村敏/湯上り(\*短歌5首)松岡虎一  
 /病床雑詠(\*短歌5首)河田茂馬/銀の花(\*短歌  
 6首)木本思水/初春の色(\*短歌7首)田邊白謠/  
 心鈴の音を聞きながら(\*短歌5首)朝来野美土里/  
 港(\*短歌3首)金田正晴/燈明(\*短歌3首)山口文

三郎  
 随筆漫筆(\*随筆欄)  
 そのとき(\*随筆) 多田白夢 72  
 或る夜の彼女(小品)(\*小説) せいとう 74  
 山本春子嬢詩風論(\*随筆) 板倉充 76  
 二月(\*俳句欄) 杉山飛雨選 77  
 (\*俳句2句)嗤秋/(\*俳句3句)松籟/(\*俳句2  
 句)麦右/(\*俳句1句)麦存/(\*俳句3句)玉湖  
 雑詠(\*俳句欄) 八谷阜鷄選 77  
 (\*俳句3句)健雄/(\*俳句2句)夕絃/(\*俳句2  
 句)かつ女/(\*俳句2句)季雄/(\*俳句1句)玉湖  
 /(\*俳句1句)芳雄/(\*俳句1句)十七  
 青い枝(\*短歌欄) 78  
 雑詠(\*短歌6首)澤田正躬/折にふれて(\*短歌6  
 首)隅田阿左夫/一月雑詠抄(\*短歌4首)角田金絲  
 雀/病める狂光(\*短歌6首)桑羽狂光/雑詠(\*短  
 歌3首)西村蘭津浪/師の君へ(\*短歌6首)桜好枝  
 /別れ(\*短歌3首)原野夜詩緒/渚(\*短歌4首)藤  
 本貞治/病中雑詠(\*短歌5首)入江瀬津緒/故郷に  
 (\*短歌6首)古長篤巳/夢のひと(\*短歌5首)イノ  
 ウエサクジ/雑詠(\*短歌2首)清水一汀/女中(\*  
 短歌3首)江村不死男/小雀(\*短歌3首)郷月光/  
 我が恋(\*短歌1首)愛露/空虚なる我が心(\*短歌  
 2首)福田葉瑠雄/市中所見(\*短歌2首)縄田平三  
 郎/雑詠(\*短歌3首)応賀十七  
 玉椿(\*詩欄) 80  
 三月(\*詩1篇)田中保夫/春(\*詩1篇)芳呂志/去  
 りし兄(\*詩1篇)千住戸穂留/早春(\*詩1篇)内田  
 玄圃/情熱を尋ねて(\*詩1篇)清家清/春の夜(\*詩  
 1篇)大熊義一/薊の花(\*詩1篇)西村蘭津浪/子供  
 (\*詩1篇)江村不死男/闇(\*詩1篇)福田葉瑠雄/  
 深夜(\*詩1篇)宇佐木草疾/深山(\*詩1篇)榊井剛  
 /おちつきのない海峡(\*詩1篇)金子光紅/お稲荷  
 様(\*詩1篇)応賀十七/谷間の百合(\*詩1篇)郷月  
 光/労働(\*詩1篇)藤本貞治/泪の恋(\*詩1篇)小  
 川晃二/月の夜(\*詩1篇)古長篤巳  
 壺南荘雜草(山色新の作曲について)(\*随筆) 藤  
 山一雄 83  
 プロ文芸の勃興(\*評論) 太田敬史郎 85  
 編輯後記 吉田常夏 88  
 筑紫野の詩人 ノンブル外  
 寮友誌友消息 ノンブル外  
 脇坂治代嬢一周年忌追悼録 89  
 妹の一週忌を迎へて(\*随筆) 脇坂開介 90

亡き妹よ(\*詩) 脇坂開介 92  
 脇坂さんの話(\*随筆) 松井静代 93  
 御霊に捧ぐ(\*詩) 吉田常夏 97  
 弔辞一束 諸家 98  
 燭臺寄稿清規、奥付 100  
 ※後ろ表紙に藤山一雄自筆楽譜の写真版をあしらう。

『燭台』第二巻第四号(昭和三年四月一日発行)



【判型】縦232mm 横158mm

【奥付】

昭和三年三月廿五日印刷／昭和三年四月一日発行  
 編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介  
 印刷人 下関市西南部町七十八番地 泉菊太郎  
 印刷所 下関市東南部町百十五番地 泉菊工場  
 発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺詞寮  
 発売所 下関市富田屋町 常夏荘 振替下関一二〇七〇番  
 定価三十五銭

表紙(石版) 山名文夫  
 短冊(裏表紙) 生田蝶介  
 新緑(創作版画) 大野 勇  
 若草(創作版画) 池田順介

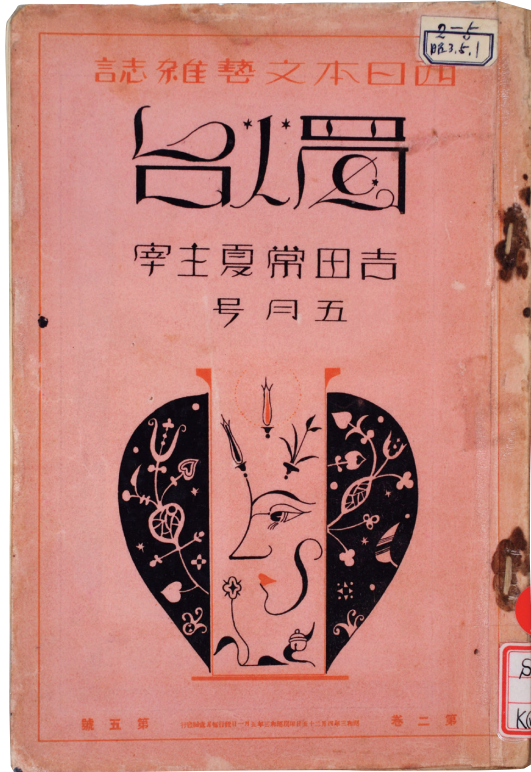
カット(自画自刻) 藤永貞男  
 カット(凸版) 山名文夫  
 詞友寮友往来 ノンブル外  
 団楽誓言(\*詩) 吉田常夏 1  
 魯西亜行(\*小説) 福永渙 2  
 首の曲つてゐる銅像(\*小説) 玉井雅夫 9  
 極く短い恋譚(\*翻訳) W・M・ガルシン原作・賀久明訳 16  
 二つの路、男と女(\*詩2篇) 加藤介春 20  
 春光(\*短歌10首) 橋田東聲 22  
 ある日の歌、婢女の恋(\*短歌7首) 若山喜志子 23  
 心覚えの詩(\*詩) 生田花世 24  
 五句(\*俳句5句) 楠目橙黄子 26  
 室見川句層(\*俳句5句) 三宅清三郎 26  
 じねんじやう(\*俳句7句) 佐々木巽 26  
 外浦に遊びて(\*俳句10句) 杉山飛雨 27  
 長閑(\*俳句8句) 厨川千江 27  
 苗代(\*俳句8句) 木下大雅堂 28  
 沈丁花(\*俳句8句) 鈴木伸堂 28  
 春めく(\*俳句10句) 一木禾堂 29  
 預けられた絹鞆(\*小説) 藤代信之 30  
 野晒(\*小説) 宗門南 35  
 金砂銀砂(\*雑録欄)  
 ポスターの蓑虫(\*詩) 佐々木巽 30  
 若き日の詩(\*詩4篇「ゆき」「春「とんび」「こひびとよ」) 河村幸次郎 31  
 山本秀雄さん(\*随筆) 高田潤之介 34  
 『近代の象牙の塔』(\*随筆) 秋月星之助 39  
 燭台歌会の記 ノンブル外  
 新緑(創作版画)(\*挿画) 大野勇 41  
 久宮内親王奉悼(\*短歌8首) 木下秀夫 42  
 早春賦(\*短歌8首) 山中茂樹 42  
 春あさし(\*短歌8首) 山田たくみ 43  
 寒き日に(\*短歌8首) 石川香村 43  
 近詠抄(\*短歌8首) 宇佐川正明 44  
 雪傷心(\*短歌8首) 河村幸次郎 44  
 足を失へる甥(\*短歌8首) 梅津一郎 45  
 この頃の歌(\*短歌8首) 山本康夫 45  
 反射爐 46  
 海の音(\*俳句7句) 兼崎地橙孫 48  
 魚涙(\*詩) 後藤哀子 48  
 揺れ芒(\*俳句8句) 板倉啖秋 49

雲を見た、花と瞳(\*詩2篇) 米田俊 50  
 かぜ(\*詩) 山田榕二 52  
 田園の人に(\*詩) 阿南哲朗 53  
 牡丹雪(\*詩) 坪田潤一露 54  
 峠一本松(\*詩) 三谷美と花 54  
 記憶のことば(\*詩) 林歌津路 55  
 朧月夜の散歩、蝶(\*詩2篇) 藤井正恵夫 57  
 小曲(\*詩) 松尾健次郎 57  
 慈母献詩、空虚(\*詩2篇) 森田緑雨 58  
 句会歌会 59  
 やつて来ないか(\*詩) 池田順介 60  
 若草(創作版画)(\*挿画) 池田順介 61  
 詩寮句会(第二回) 52  
 各館解説看視記(\*随筆) 小池壽耶 53  
 悩ましき春(\*短歌7首) 木本俊二 62  
 折にふれて(\*短歌8首) 出口繁数 62  
 車輓く牛(\*短歌8首) 岩本哀汐 62  
 帰省(\*短歌8首) 野々宮かすみ 63  
 春日(\*短歌9首) 齋藤閑子 63  
 陽の暖かさ(\*短歌5首) 中川芳江 64  
 亡き母(\*短歌7首) 岡崎楓子 64  
 久宮内親王殿下奉悼(\*短歌4首) 常盤すみれ 65  
 わが夫に(\*短歌7首) 恵波紀世子 65  
 啄木の日に啄木を憶ふ(\*評論) 田上耕作 66  
 紅茶の前後(\*随筆欄) 70  
 花と椅子(\*随筆) 米田俊 70  
 燭台晴雨計(\*随筆) 高田潤之介 73  
 燭台街春景(\*随筆) 板倉充 77  
 春の句(\*俳句欄) 70  
 摘草(\*俳句5句)恒成鳴石/若芝(\*俳句7句)三宅  
 今年竹/春の宵(\*俳句5句)堂山破葉/ヒヤシンス  
 (\*俳句7句)伊藤春外套/虎落笛(\*俳句8句)門田  
 克己/汐干(\*俳句7句)室中甲兒/別れ霜(\*俳句  
 8句)勝間平和堂/野焼(\*俳句8句)澤田玉湖/探  
 梅(\*俳句7句)神松籟/春宵(\*俳句3句) 田中麦  
 右  
 春霞集(\*短歌欄) 74  
 外国船(\*短歌6首)武田庫夫/正述心緒(\*短歌6  
 首)秦銀杏/真白き雲(\*短歌4首)木本思水/春雑  
 詠(\*短歌4首)三浦正美/淡雪(\*短歌4首)小林利  
 江/入院雑詠(\*短歌5首)小路閑子/青空(\*短歌  
 5首)山下寛治/沈黙二重奏(\*短歌3首)西村蘭津  
 浪/解剖されし兔(\*短歌5首)長尾烏女弁/春来る  
 (\*短歌4首)藤本貞治/春雨(\*短歌4首)西村薫花

／父と子(\*短歌5首)イノウエ・サクジ/離愁(\*  
 短歌5首)山本滋穂/筑紫に來りて(\*短歌4首)  
 松本真砂路  
 陽炎(\*詩欄) 78  
 インヂアンラメント(\*詩1篇)芳呂志/乙女故(\*  
 詩1篇)関屋みつる/野にて、淋しい時に(\*詩2篇)  
 山本春子/云へない事(\*詩1篇)相澤群子/昔の夢  
 (\*詩1篇)阿川芳雄/こわれた万年筆(\*詩1篇)角  
 田金絲雀/病みて帰る(\*詩1篇)楠野攸甫/悩まし  
 さ(\*詩1篇)安部緋紗夫/けむり(\*詩1篇)東本繡  
 子/薄れゆく感情(\*詩1篇)清家清/春の曲線美  
 (\*詩1篇)大野勇/希望(\*詩1篇)村尾里火  
 弥生集(\*短歌欄) 82  
 浅春(\*短歌6首)萱村敏/春立ちたて(\*短歌4首)  
 田島青透/寂しさ(\*短歌6首)奥野若水/吉田川に  
 て(\*短歌3首)縄田平三郎/早春(\*短歌3首)隅田  
 あさ夫/姉上に(\*短歌4首)山本好枝/如月抄(\*  
 短歌3首)能宅神三/春(\*短歌4首)澤田正躬/揚  
 雲雀(\*短歌3首)清水一汀/お山お狐(\*短歌3首)  
 松下龍児/春(\*短歌3首)郷月光/入相の鐘(\*短  
 歌4首)永西文/雑詠(\*短歌3首)應賀十七/巡礼  
 歌(\*短歌4首)久保かく郎/故郷にて(\*短歌4首)  
 杜木/新春雑詠(\*短歌3首)宮地豊洲/あゝのころ  
 (\*短歌4首)大庭定男/父(\*短歌3首)吉鹿愛吉/  
 春の光(\*短歌2首)増岡ひさし/生活断片(\*短歌  
 2首)のむら・さかえ  
 玉盃(\*詩欄) 84  
 他郷の雨(\*詩1篇)久保律郎/春と情熱と(\*詩1  
 篇)津田厚志/淋しき心(\*詩1篇)古長篤己/妖婦、  
 春(\*詩2篇)江村不死男/春夜(\*詩1篇)小牟田紫  
 星/河辺に立つて(\*詩1篇)北上次郎/泣き笑ひ  
 (\*詩1篇)鳥井完/毛虫よ(\*詩1篇)片里伸夫/五  
 右衛門が泣く(\*詩1篇)吉賀美作/去りし君に(\*  
 詩1篇)村上明/若者(\*詩1篇)青山壽介/春の会  
 話(\*詩1篇)池田三郎/恋人(\*詩1篇)大熊義一/  
 地の果(\*詩1篇)若月俊夫/春の断片(\*詩1篇)小  
 泉喜代一/君に(\*詩1篇)金子光紅/ふるへる指、  
 町の灯(\*詩2篇)寺田友一/大地の響(\*詩1篇)高  
 須春溪/お嬢ちゃん(\*詩1篇)宇佐木草痕/弱者の恨  
 (\*詩1篇)岡野玉葉/だるまの町(\*詩1篇)長沼博  
 文/別離(\*詩1篇)入江瀬津雄/女郎花情調(\*詩  
 1篇)池田龍介/十八娘(\*詩1篇)西村雅緒/かご  
 の鳥(\*詩1篇)廣岡傳  
 編輯後記 吉田常夏 88

寮友誌友消息 ノンブル外  
寄贈雑誌(三月号) ノンブル外  
燭台寄稿清規 ノンブル外  
※後ろ表紙に生田蝶介自筆短冊の写真版をあしらう。

『燭台』第二巻第五号(昭和三年五月一日発行)



【判型】縦223mm 横152mm

【奥付】

昭和三年四月廿五日印刷／昭和三年五月一日発行  
編輯兼發行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介  
印刷人 下関市西南部町七十八番地 泉菊太郎  
印刷所 下関市東南部町百十五番地 泉菊工場  
發行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺詞寮  
發売所 下関市富田屋町 常夏莊 振替下関一二〇七〇番  
定価三十五銭

表紙(石版) 二川 新  
裏表紙(作曲) 林歌津路  
全(作曲) 村尾俊介  
新緑(創作版画) 大野 勇  
カット(凸版) 山名文夫

漱石の言葉(*エピグラフ「草枕」の一節)	1
春日雑感(*感想) 須藤鐘一	2
月の戯れ、西行(*詩2篇) 加藤介春	4
海鬢余情(*短歌15首) 三谷蘆華	6
屋上展望(*小説) 加藤雅胤	8
四月の馬車(*小説) 津田厚志	12
路灰白く(*小説) 松井静代	17
反射爐	22
金短冊(*俳句欄)	
防風(*俳句7句) 三宅清三郎	24
蝸蚪(*俳句5句) 小川素風郎	24
やま桜(*俳句7句) 日原方舟	25
花(*俳句5句) 厨川千江	25
ももの花(*俳句5句) 豊田糸船	25
枯れ柳(*俳句7句) 大谷碧雲居	26
日永(*俳句6句) 木下大雅堂	26
春光(*俳句5句) 原波朗	27
夕東風(*俳句3句) 田中慧星子	27
葱坊主(*俳句5句) 宇佐川水裏	27
五形花(*俳句5句) 白松麦村	27
ふる菴(*俳句7句) 佐々木巽	28
花五句(*俳句5句) 楠目橙黄子	28
燭台雑詠(*俳句欄) 楠目橙黄子選	29
(*俳句1句)大津十九夜／(*俳句1句)西月兎／	
(*俳句2句)橋瓜崕松／(*俳句2句)佐野操／(*俳句2句)石川秀芳／(*俳句1句)恒成鳴石／(*俳句6句)三宅今年竹／(*俳句2句)澤田玉湖／(*俳句2句)神松籟	
兵隊(*詩) 玉井雅夫	30
はる抒情二篇、別離を想ふ、よき人よ(*詩2篇)	
森田緑雨	31
幸福の来ない日暮、白い指を愛する(*詩2篇) 米田俊	32
初夏の窓(*短歌欄)	
藝(*短歌8首) 山中茂樹	34
乳児のうた(*短歌8首) 山田たくみ	34
まぶしきひかり(*短歌8首) 山本康夫	35
心傷断片(*短歌8首) 梅津一郎	35
歯を病みて(*短歌8首) 宇佐川正明	36
京の思ひ出(*短歌6首) 木下秀夫	36
哀別(*短歌3首) 白上桜塙	37
故郷(*短歌7首) 木本俊二	37
上野動物園(*短歌8首) 河村幸次郎	37
鯉(*短歌8首) 江原青鳥	38

墓参(\*短歌8首) 岩本哀汐 38  
曇れる空(\*短歌8首) 齋藤閑子 39  
春風(\*短歌8首) 弘中晴恵 39  
土(\*短歌9首) 中川芳江 40  
折にふれて(\*短歌7首) 恵波紀世子 40  
仲春(\*短歌6首) 武田庫夫 41  
雑詠(\*短歌4首) 森田静枝 41  
歌集萱原合評会速記 42  
山中茂樹、木下秀夫、木本俊二、石川ゆたか、長尾  
烏女弁、清家清  
当夜歌会詠草  
(\*短歌1首)木本俊二/(\*短歌1首)山中茂樹/  
(\*短歌1首)恵波紀世子/(\*短歌1首)山本康夫/  
(\*短歌1首)松本真砂路  
席題『夜空』  
(\*短歌1首)山中茂樹/(\*短歌1首)石川ゆたか/  
(\*短歌1首)木本俊二/(\*短歌1首)木下秀夫/  
(\*短歌1首)米田俊/(\*短歌1首)角田金糸雀/  
(\*短歌1首)後藤加奈緒/(\*短歌1首)山本康夫  
燭台歌会の記 山本康夫 45  
季節の微風(\*俳句欄)  
近詠五句(\*俳句5句) 飯田不昧堂 46  
雨の魚(\*俳句10句) 多田青士 46  
桃の木の雨(\*俳句10句) 内田碧洲々 47  
寂しい春陽(\*俳句9句) 板倉嗤秋 47  
春興雑詠(\*俳句7句) 兼崎地橙孫 48  
緑蔭(創作版画) 大野勇 49  
薔薇色の風景(\*詩欄)  
ちんだいさんの詩(\*詩1篇) 林歌津路 50  
感覚の心象(\*詩1篇) 北斗星治 50  
葱(\*詩1篇) 阿南哲朗 51  
湖の風景(\*詩1篇) 高崎牧夫 51  
港町の彷徨者(\*詩1篇) 三谷忠義 52  
石と戯る(\*詩1篇) 萩野健二郎 52  
水仙(\*詩1篇) 西村直一 52  
魂(\*詩1篇) 角田啓 53  
若松港所感(民謡)(\*詩1篇) 後藤加奈緒 53  
抒情民謡三篇(\*詩3篇) 山本榕二 53  
緑の樹立(\*短歌欄) 54  
焼香(\*短歌5首)三浦正美/病床に待す(\*短歌5  
首)廣瀬翠/春の景色(\*短歌5首)りつを・くぼ/  
愛し児(\*短歌6首)藤本貞治/雑詠(\*短歌5首)宮  
地豊洲/桜(\*短歌3首)木本思水/朝鮮の早春(\*  
短歌5首)松岡虎一/孔雀草(\*短歌7首)香田滋穂

/銀の耳かき(\*短歌6首)秦銀杏/悪筆(\*短歌5  
首)河内山茂/雑詠(\*短歌5首)小林利江/雑詠(\*  
短歌6首)澤田正躬/雑詠(\*短歌4首)のむら・さ  
かえ/春かざ〜(\*短歌3首)宮地鳴雨/或る日  
(\*短歌5首)野々宮かずみ/公園(\*短歌8首)山本  
好男/近詠(\*短歌2首)奥野若水/テープ(\*短歌  
5首)隅田あさ夫/つれづれに(\*短歌5首)安部覇  
都緒/早春(\*短歌4首)小林はじめ/春の心(\*短  
歌6首)萱村敏/春愁(\*短歌3首)古長篤己/砂浜  
(\*短歌4首)郷一夫/友(\*短歌4首)イノウエサク  
ジ/ダリヤの根球(\*短歌3首)江村不死男/友に別  
る(\*短歌2首)柴谷佳子/山茶花(\*短歌4首)應賀  
十七/悲しき故郷(\*短歌3首)原田七郎  
雅号物語 54  
河原杏子/加藤介春/佐々木巽/梅津一郎/楠目橙  
黄子/宇佐川正明/原波朗/秦銀杏/後藤哀子/田  
上耕作/山本平八/山田たくみ/佐野操/馬場星湖  
津田厚志/後藤加奈緒/村田常夏/江原青鳥  
朝の噴水(\*詩欄) 62  
小曲断章(\*詩1篇)藤井正恵夫/広原で(\*詩1篇)  
小牟田紫星/渚(\*詩1篇)大熊義一/湖(\*詩1篇)  
藤井文次郎/春雨(\*詩1篇)あがわ・よしを/哀し  
き彫刻師(\*詩1篇)関屋みつる/去りゆく人に(\*  
詩1篇)相澤群子/或る夜、女(\*詩2篇)山本春子  
/別れ(\*詩1篇)常盤すみれ/友(\*詩1篇)東本繡  
子/春く夕陽に(\*詩1篇)原田葉秋/春の雨(\*詩  
1篇)江村不死男  
明眸詩篇(\*詩欄) 66  
悔恨(\*詩1篇)森田覚/影(\*詩1篇)比呂夢/春よ  
私は寂しい(\*詩1篇)白石軍司/桜と武士(\*詩1  
篇)溝部正道/風(\*詩1篇)矢港龍志/春の宵(\*詩  
1篇)水野静芽/心の丈(\*詩1篇)西村蘭津浪/今  
宵(\*詩1篇)宗照夫/なやみ(\*詩1篇)清家清/涙  
(\*詩1篇)長尾烏女弁/夕べの思出(\*詩1篇)村田  
愛子/姿(\*詩1篇)鳥井完/過去(\*詩1篇)西村哲  
/美しい夢(\*詩1篇)古長篤己/病床(\*詩1篇)山  
路虹郎/鐘がなる(\*詩1篇)福島陸一郎/幸福(\*  
詩1篇)杜木/片思ひ(\*詩1篇)西村雅緒/懐しき  
思ひ出(\*詩1篇)川崎松夫/鶉(\*詩1篇)永西文/  
おんな(\*詩1篇)小川晃二/或る夜の歎き(\*詩1  
篇)村上明/弟(\*詩1篇)寺田友一/ぬる風の街(\*  
詩1篇)池田龍介  
映画明暗(\*随筆欄)  
映画片々(\*随筆) OPQ生 70



喜劇流行時代(\*随筆) 小池壽郎 71  
 詞寮の会 71  
 花茗随筆(明治詩壇過去帳) (\*随筆) 吉田常夏 72  
 貞女としての小野小町(\*評論) 田上耕作 78  
 心臓の鼓動(\*随筆) 吉田常夏 82  
 花と椅子(\*随筆) 米田俊 82  
 寮友誌友消息 ノンブル外  
 燭台寄稿清規 ノンブル外  
 奥付 ノンブル外  
 ※後ろ表紙に林歌津路、村尾俊介作曲楽譜の写真版をあしらう。

『燭台』第二巻第六号(昭和三年六月一日発行)



【判型】縦227mm 横156mm

【奥付】

昭和三年五月廿五日印刷／昭和三年六月一日発行  
 編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介  
 印刷人 下関市西南部町七十八番地 泉菊太郎  
 印刷所 下関市東南部町百十五番地 泉菊工場  
 発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭台詞寮  
 発売所 下関市富田屋町 常夏荘 振替下関一二〇七〇番

定価三十五銭

表紙(石版) 河村幸次郎  
 裏表紙(言葉) 横瀬夜雨  
 版画(巻頭) 大西巴留雄  
 カット(凸版) 山名文夫

都より(\*書簡) 河井醉茗 1  
 故郷の山々(一) (\*短歌12首) 生田蝶介 2  
 小倉に住みし思ひ出(\*短歌10首) 齋藤瀏 4  
 病床の歌(\*短歌12首) 河井稲子 6  
 旅愁二題(\*小説) 馬場武 7  
 誕生(\*小説) 森田緑雨 15  
 第一回燭台文芸座談会 20  
 加藤雅胤、山本康夫、二川新、亀山莞、木下秀夫、藤代信之、後藤加奈緒、米田俊、島村量三、早田雅堂、吉田常夏  
 みどりの町 詠草・六月集(\*短歌欄) 24  
 哀唱(\*短歌9首) 山中茂樹 24  
 海と倉庫街(\*短歌6首) 石川ゆたか 24  
 櫛のふる葉(\*短歌8首) 山田たくみ 25  
 夕靄(\*短歌8首) 山本康夫 25  
 大根の花(\*短歌7首) 中川芳江 25  
 皐月(\*短歌4首) 木本俊二 26  
 ゆく春(\*短歌6首) 松本真砂路 26  
 初夏(\*短歌5首) 三増美歌子 26  
 からたちの花(\*短歌5首) 小林はじめ 27  
 独り往く者(\*短歌5首) 江口王樹 27  
 歌くづ(\*短歌5首) 杉原敏治 27  
 雲雀(\*短歌4首) 武田庫夫 28  
 祖母病む(\*短歌5首) 岩本哀汐 28  
 近況(\*短歌6首) 齋藤閑子 28  
 眼を伏せる(\*短歌4首) 山下寛治 29  
 星月夜(\*短歌4首) 恵波紀世子 29  
 橙の下道(\*短歌4首) 出口繁数 29  
 軽井沢(\*短歌3首) 三浦正美 29  
 銀砂子(\*俳句欄) 30  
 麦笛(\*俳句7句) 三宅清三郎 30  
 松蟬(\*俳句6句) 佐々木巽 30  
 桐の花(\*俳句5句) 厨川千江 31  
 近詠(\*俳句5句) 白松麦村 31  
 朝晴れ(\*俳句4句) 庄司鶴仙 31  
 掌上の壺(\*俳句欄) 32  
 行春些事(\*俳句6句) 兼崎地橙孫 32

近郊春景(\*俳句5句) 久保白船 32  
兼崎先生に(\*俳句2句) 林川寥之介 33  
愛調曲(\*俳句4句) 板倉嘖秋 33  
反射爐 34  
断想(不完全をしたふ心と完全を願ふ心と)(\*随筆)  
満井信太郎 36  
花茗夜話(明治詩壇過去帳 其二)(\*随筆) 吉田  
常夏 38  
樹陰の椅子(\*詩欄)  
神にそむく(\*詩1篇) 阿南哲朗 43  
哀春調(\*詩1篇) 林歌津路 43  
六月(\*詩1篇) 脇坂開介 44  
蘆に寄す詩(\*詩1篇) 藤井文次郎 44  
五月の朝と家(\*詩1篇) 山本榕二 44  
初夏の印象詩(\*詩1篇) 藤井正恵夫 45  
転居(\*詩1篇) 角田啓 45  
平凡(\*詩1篇) 橋口潮 45  
昼の月(\*詩1篇) 後藤加奈緒 46  
断片的な五月の海景(\*詩1篇) 津田厚志 46  
海と君(\*詩1篇) 目夢美 47  
五月の雨・花・私(\*詩1篇) 山本春子 47  
近頃(\*詩1篇) 柴夢美 47  
慰め(\*詩1篇) 関屋みつる 47  
求め得し心(\*詩1篇) 東本ぬひ 48  
汚れた手(\*詩1篇) 岩中スミ子 48  
だまりつこ(\*詩1篇) 村田愛子 48  
卓上の花(\*短歌欄) 49  
筑紫曠野(\*短歌3首)金田正晴/麦の新芽(\*短歌  
4首)山本好枝/朝鮮の旅(\*短歌5首)萱村敏/な  
みだ(\*短歌3首)増岡ひさし/菜の花(\*短歌2首)  
西村薫花/桃の花(\*短歌2首)松岡虎一/いとし子  
(\*短歌5首)藤本貞治/生魚の腹裂く男(\*短歌4  
首)井原龍/工場の小窓より(\*短歌2首)りつをく  
ぼ/矢車の花(\*短歌3首)長尾烏女弁/故郷の旅  
(\*短歌2首)原田葉秋/病床の友に(\*短歌3首)青  
木信義/まぼろし(\*短歌3首)山口清波/友を思ひ  
て(\*短歌2首)三浦美砂緒/恋は俄か雨(\*短歌2  
首)池田龍介/雑詠(\*短歌2首)五十崎惇/折にふ  
れて(\*短歌2首)のむら、さかえ/雑詠(\*短歌2  
首)内田玄圃/灯る頃(\*短歌2首)登尾根登志雄/  
ばらそる(\*短歌2首)奥野若水/籠の中(\*短歌2  
首)藤田都好/初夏雑唱(\*短歌3首)朝日奈昇緑/  
観桜(\*短歌2首)河内山茂/潮干の浜(\*短歌2首)  
サクラ、カズエ/姉病みて(\*短歌2首)古長篤己/

淋しき心(\*短歌2首)山本寂涯/雑詠(\*短歌2首)  
イノウエ、サクジ/日記帳より(\*短歌2首)安部覇  
都緒/木下博士に捧ぐ(\*短歌2首)林川寥之介/春  
の宵(\*短歌3首)吉鹿愛吉/五月雨(\*短歌2首)木  
本思水/求め得ざれば(\*短歌3首)岡崎楓子/人待  
つ夜(\*短歌2首)廣瀬翠/旅(\*短歌3首)福島陸一  
郎/故郷の春(\*短歌2首)原野夜詩緒/春光(\*短  
歌3首)応賀十七/旅(\*短歌3首)郷一夫/嫁ぐ日  
近く(\*短歌3首)都詩恵  
雅号物語 49  
阿南哲朗/木本俊二/木下秀夫/山中茂樹/長尾烏  
女弁/白松麦村/久方清宵/角田啓/林歌津路/毛  
利元恒/西村薫花  
燭台文士録 53  
月 散文詩(\*詩) 村尾里火 56  
胸病める君 掌篇(\*詩) 久方清宵 57  
五月歌会記録 米田俊 56  
小倉小唄(\*詩) 阿南哲朗 58  
柳井支部だより 津田厚志 59  
燭台雑詠(\*俳句欄) 三宅清三郎選 58  
(\*俳句4句)三宅今年竹/(\*俳句4句)光野勇/  
(\*俳句3句)橋爪崕松/(\*俳句1句)田中彗星子/  
(\*俳句1句)神松籟/(\*俳句1句)寺川柳影子/  
(\*俳句1句)多留見紫堂/(\*俳句1句)澤田玉湖/  
(\*俳句1句)吉鹿芳明/(\*俳句1句)佚名氏/(\*  
俳句1句)かはら撫子/(\*俳句1句)三好斗子/(\*  
俳句1句)宮地鳴雨/(\*俳句1句)村上喜與志/(\*  
俳句1句)西村薫花/(\*俳句1句)有本路青  
大会二つ 歌大会 朗読会 59  
微風の窓(\*詩欄) 60  
田園素描(\*詩1篇)上村肇/消える足音(\*詩1篇)  
小泉喜代一/別れの言葉(\*詩1篇)西村蘭津浪/五  
月の埠頭(\*詩1篇)原田葉秋/春夜彷徨(\*詩1篇)  
阿川芳雄/我が母(\*詩1篇)矢口草子/釣鐘草(\*  
詩1篇)磯永つる子/歎き(\*詩1篇)宗照夫/雲(\*  
詩1篇)矢港龍志/足がらみ(\*詩1篇)福田葉留雄  
/蒼い情熱(\*詩1篇)藤元まさる/七ツ星(\*詩1  
篇)小向冬晴/或る時(\*詩1篇)新谷多慶雄/愛の  
姿(\*詩1篇)村上明/あきらめ(\*詩1篇)長沼るゝ  
子/この頃の私(\*詩1篇)水野静芽/今宵(\*詩1  
篇)藤野夜詩緒/石割小唄(\*詩1篇)古屋香津三/  
敗者(\*詩1篇)寺田友一/勉め(\*詩1篇)川崎松夫  
/小犬のひとみ(\*詩1篇)高須春溪/房子君に寄す  
(\*詩1篇)ハツトリカタ詩/朝の風呂(\*詩1篇)藤

原俊男／寂しい口笛(\*詩1篇)多中しげ之／幻影を追ひて(\*詩1篇)山路虹郎／わたしのハート(\*詩1篇)／水戸國顕／森の春(\*詩1篇)水戸白香  
映画明暗(\*随筆欄)

下関映画界雑談(\*随筆) 河村幸次郎 65  
剣劇と明日の映画(\*随筆) 神田久二夫 68  
映画監督、その他(\*随筆) 芳澤千代彦 69  
映画片々(\*随筆) O P Q生 69  
街と草地(\*随筆欄)

『雪とサイコロ』と将棋(\*随筆) 加藤雅胤 71  
五月の手帖(\*随筆) 米田俊 74  
ナンセンス芸術論(\*随筆) 秋月星之介 77  
五月号の詩歌壇(\*随筆) 野村栄 78  
受贈新刊書籍雑誌其他の紹介 79

編輯後記 吉田常夏 80  
燭台寄稿清規 ノンブル外  
誌友寮友往来 ノンブル外

※後ろ表紙に横瀬夜雨書簡の写真版をあしらう。

『燭台』第二巻第七号(昭和三年七月一日発行)



【判型】縦226mm 横153mm

【奥付】

昭和三年六月廿五日印刷／昭和三年七月一日発行  
編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市西南部町七十八番地 泉菊太郎  
印刷所 下関市東南部町百十五番地 泉菊工場  
発行所 下関市上田中町一三五三(富田屋町) 燭臺詞寮

発売所 下関市富田屋町 常夏荘 振替下関一二〇七〇番  
定価三十五銭

表紙(石版) 山名文夫  
裏表紙(筆蹟) 兼崎地橙孫  
版画(静物) 大野 勇  
カット(凸版) 山名文夫

詩の道(\*詩1篇) 河井醉茗 1  
電波(\*詩1篇) 服部嘉香 2  
芽花の憂ひ 故郷の山々(二)(\*短歌12首) 生田蝶介 4  
父の心持(上)(\*小説) 楠田敏郎 6  
金三円(\*小説) 河原杏子 11  
反射爐 14

月夜の薔薇、或る時人に与へて(\*詩2篇) 米田俊 16

生活と蛙(\*詩1篇) 阿南哲朗 16  
麗人去(\*詩1篇) 林歌津路 17  
蛙(\*詩) 萩野健二郎 17  
五月と松の花(\*詩1篇) 原善磨 18  
夏の夜の行進曲(\*詩1篇) 長谷一休 18  
だあじ(\*詩1篇) 藤井文次郎 19  
春(\*詩1篇) 中村暢 20

予告 20  
澄める青空(\*詩欄) 21  
空みて歩く奥さん(\*詩1篇)永野俊一／或るひとへ(\*詩1篇)藤井正恵夫／静夜曲(\*詩1篇)能美知足／六月(\*詩1篇)角田啓／炎に親しむ(\*詩1篇)橋口うしお／蓮池(民謡)(\*詩1篇)後藤加奈緒／野の処女(\*詩1篇)北斗星治／野苺(\*詩1篇)大野勇／姉様は(童謡)(\*詩1篇)佐伯正雄／曲馬団の女(\*詩1篇)西村直一／早足(\*詩1篇)脇坂開介／卵と洋酒と(\*詩1篇)長尾鳥女弁／六月の或る午後(\*詩1篇)山本春子／白い墓石(\*詩1篇)三浦美紗緒／ある夕(\*詩1篇)相澤群子／故里(\*詩1篇)関屋みつる／別れ(\*詩1篇)山川明夢／若き日の愛(\*詩1篇)柴谷佳子

第二回燭台文芸座談会 関門文藝雑誌回顧 28

林歌津路、加藤雅胤、木本俊二、梅津一郎、吉田常夏

山口歌壇回顧（\*随筆） 宇佐川正明 33

新聞の地方文芸観（\*随筆） 各新聞文芸部 34

豊州新報 荒木布泉、門司大朝 後藤哀子、肥前日日 牧瀬苔花、尾道山陽日日 青木茂、朝鮮京城日報 内田かほる、山口防長 吉富ふみあき

五人集（\*短歌5首） 窪田空穂 白井俊夫 戸田まさ子 稲森宗太郎 宇津野研 35

蜻蛉（\*短歌5首） 藤崎杏水 36

日曜日に（\*短歌10首） 山本康夫 36

若葉と昼湯（\*短歌8首） 山田たくみ 37

秘唱（\*短歌8首） 山中茂樹 37

虹と海と青葉 詠草七月集（\*短歌欄） 38

雞（\*短歌10首）武田庫夫／病床吟（\*短歌7首）出口繁数／夏の夕暮（\*短歌11首）松本真砂路／初夏の歌（\*短歌10首）恵波紀世子／初夏（\*短歌7首）中川芳江／夕鳥（\*短歌7首）齋藤閑子／杉むら（\*短歌8首）山中俊次／五月集（\*短歌4首）西村薫花／さつき晴れ（\*短歌8首）小林はじめ／別府海岸（\*短歌8首）久保田哀穂／酒を捧ぐる手（詩人でない詩人の詩）（\*短歌10首）犀河泗牛／橋（\*短歌5首）木本白汀／悲しみを織る（\*短歌4首）岡本多香子／雨霽れ（\*短歌4首）弘中晴恵／葉桜と林檎（\*短歌8首）伊原龍／或る日の見合（\*短歌5首）岩本哀汐／雑詠（\*短歌4首）三浦正美／運命と（\*短歌4首）山下寛治／揺籃の地（\*短歌8首）原田葉秋／雑詠（\*短歌4首）藤本貞治

浮葉巻葉（\*俳句欄）

秋芳洞句草（\*俳句17句） 佐々木巽 46

薫風（\*俳句5句） 厨川千江 47

螢（\*俳句5句） 豊田糸船 48

初松魚（\*俳句7句） 中尾呂月 48

白湯の味（\*俳句4句） 兼崎地橙孫 49

首夏風景（\*俳句7句） 久保白船 49

随感二つ三つ（\*随筆） 秋良春夫 50

昼螢（\*随筆） 佐野操 53

花茗夜話（明治詩壇過去帳其三）（\*随筆） 吉田常夏 55

青空の下に（\*短歌欄） 60

呼子鳥（\*短歌6首）朝日奈昇緑／君に捧げる歌（\*短歌3首）藤本まさる／五月雨頃（\*短歌4首）山本好枝／此の頃の歌（\*短歌4首）阿川芳雄／春（\*短歌1首）白石照波／植木（\*短歌4首）手島翠抱／螢

とり（\*短歌5首）石川潤治／教子（\*短歌4首）小牟田紫星／教卓（\*短歌4首）弥富保子／ふるさと（\*短歌4首）藤井青果／初夏の離別（\*短歌4首）萱村敏／病める友を訪ねて（\*短歌3首）江村不死男／小門海峡（\*短歌4首）河内山茂／春野（\*短歌4首）山口清波／漁村にて（\*短歌3首）岡崎楓子／六月（\*短歌1首）宇津見芙蓉の介／花柘榴（\*短歌4首）藤田都好／病床余情（\*短歌2首）河田茂馬／旅にて（\*短歌3首）中村まさみ／目白（\*短歌3首）木本思水／虫取り（\*短歌2首）帆足夜詩緒／競馬場にて（\*短歌1首）國松松聲／はつなつ（\*短歌3首）安部初雄／桜のつぼみ（\*短歌2首）山本義男／恋唱（\*短歌1首）服部カタ詩／たそがれ（\*短歌3首）弘中稔／母君の言葉（\*短歌3首）高田はやみ／病床（\*短歌3首）奥野若水／雑詠（\*短歌2首）應賀十七／六月の歌（\*短歌2首）戸川不律／雑詠（\*短歌2首）増岡ひさし／逝きしみどり児（\*短歌3首）郷一夫／淋しき心（\*短歌3首）山本稔／雑詠（\*短歌3首）磯田元彦／無題（\*短歌3首）のむら・さかえ／桐の花（\*短歌3首）高須春溪／六月の歌帳（\*短歌3首）五十崎惇／をとめの歌（\*短歌2首）田中いさ夫／たはむれ（\*短歌2首）古長篤己／あひびき（\*短歌2首）大庭定男

六月の会 記録 60

燭台雑詠（\*俳句欄） 佐々木巽先生選 68

（\*俳句2句）石田素秋／（\*俳句2句）石川秀芳／（\*俳句2句）吉鹿芳明／（\*俳句2句）橋爪崕松／（\*俳句2句）石田ほろし／（\*俳句1句）一休／（\*俳句1句）香月生／（\*俳句2句）富岡翠山／（\*俳句1句）三好斗子／（\*俳句1句）神谷實太郎／（\*俳句1句）村上喜與志／（\*俳句1句）配川暁風／（\*俳句1句）西村薫花／（\*俳句1句）多留美紫堂／（\*俳句1句）大津古万／（\*俳句1句）西月兎／（\*俳句1句）白石照波

新傾向句集（\*俳句欄） 兼崎地橙孫選 68

（\*俳句1句）橋爪崕松／（\*俳句1句）多々良寒火堂／（\*俳句1句）林川寥之介／（\*俳句1句）増田ひさし／（\*俳句1句）板倉嘸秋

燭台支部名簿（1） 68

七月の会 燭台短歌会 花の会 文芸座談会 69

空への花束（\*詩欄） 70

龍膽の鐘（\*詩1篇）水戸白香／湯殿（\*詩1篇）村田愛子／はつ夏（\*詩1篇）小泉喜代一／西洋館（\*詩1篇）高倉尊松／私（\*詩1篇）矢口草子／小草（\*詩

1 篇)岩中スミ子／綻ばぬ秘密(\*詩1篇)西勢輝意  
 血／五月の風景(\*詩1篇)杉原敏治／朝(\*詩1篇)  
 阿川芳雄／母上よ(\*詩1篇)宗照夫／鉛筆(\*詩1  
 篇)磯永つる子／十一時(\*詩1篇)近信康登／五月  
 雨(\*詩1篇)大熊義一／女の手紙より(\*詩1篇)村  
 上明／響(\*詩1篇)新谷たけ夫／一人淋しく(\*詩  
 1篇)川崎松夫／悩み(\*詩1篇)小坊ちやん／夕焼  
 (\*詩1篇)山川武男／バルコニー(\*詩1篇)定村峽  
 秋／月夜(\*詩1篇)雨辺東花／時計の嘲笑(\*詩1  
 篇)福島陸一郎／離愁(\*詩1篇)後藤孤愁／恋人を  
 呼ぶ(\*詩1篇)水野静芽／酒場に想ふ(\*詩1篇)池  
 田龍介／初夜(\*詩1篇)石橋実／呪はしき生存(\*  
 詩1篇)きよ・せいか／恋人の偽(\*詩1篇)さくら  
 きみこ／七月(\*詩1篇)江村二四生／黎明の月(\*  
 詩1篇)富岡葉翠郎／若者のなやみ(\*詩1篇)古長  
 篤己／馬車ひき(\*詩1篇)溝部正道／待つ夜(\*詩  
 1篇)香月生／悪夢(\*詩1篇)寺田友一／冷たい泪  
 (\*詩1篇)村田一郎／憂悲(\*詩1篇)岡野玉萬  
 映画明暗(\*随筆欄) 75  
 戦争映画の総決算(\*随筆) 上山真砂介 75  
 映画随筆(\*随筆) 神田久二夫 76  
 映画労働者。其他(\*随筆) 芳澤千代松 77  
 『地球は廻る』私評(\*随筆) 沖秀夫 78  
 『サーカス』と『ガウチヨウ』(\*随筆) 亀山望  
 79  
 街と草地(\*随筆欄) 80  
 賀筵後記(\*書簡) 河井醉茗 80  
 故郷その他(\*随筆) 森田緑雨 81  
 新木を植える(\*随筆) 板倉嗤秋 83  
 郷土文芸私見(\*随筆) 相本清三 84  
 蚊に血を吸はせる男(\*小説) 馬場星湖 85  
 編輯後記 吉田常夏 87  
 誌友寮友往来 ノンブル外  
 燭台寄稿清規 ノンブル外  
 ※後ろ表紙に兼崎地橙孫短冊の写真版をあしらう。

『燭台』第二巻第八号(昭和三年八月一日発行)



【判型】縦227mm 横157mm

【奥付】

昭和三年七月廿五日印刷／昭和三年八月一日発行  
 (毎月一回一日発行)

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開  
 介

印刷人 小倉市大坂町五四 高崎金太郎

印刷所 小倉市大坂町五四 高崎印刷所 電話  
 六〇三番／七八八番

発行所 下関市上田中町一三五三(略下関富田屋町)

燭臺詞寮

発売所／御註文所 下関市富田屋町 常夏荘 振替  
 口座下関一二〇七〇番

定価三十五銭

表紙(石版) 藤永貞男

裏表紙(筆蹟) 吉田常夏

創作版画(カット) 加藤雅胤

カット(凸版) 山名文夫

創作版画(カット) 吉田常夏

海の女・山の女(\*詩1篇) 野口雨情 1

父の心持(下)(\*小説) 楠田敏郎 2

海の女・山の女(\*随筆) 6

若山牧水、津村京村、畑耕一、十菱愛彦、福田正夫、  
橋田東聲、須藤鐘一  
近代風景（\*随筆） 8  
加藤介春／木下静観／加藤七五郎／兼崎理蔵／後藤  
哀子／久保白船／山田たくみ／黒田静男／荒木布泉  
／佐々木巽／石川香村／三増正穂／東清次郎／弘中  
晴恵／満井信太郎／藤村自嗤亭生／高木進一路／久  
保田哀穂／宇佐川正明／秋良春夫／久保より江／厨  
川千江  
反射爐 12  
詠草を読みながら（\*詩1篇） 宇都野研 14  
馬（\*短歌8首） 菊池劍 14  
麦の穂（\*短歌5首） 竹内薫兵 15  
春密来（\*短歌7首） 中島哀浪 15  
遊船（\*俳句5句） 楠目橙黄子 16  
朝東風（\*俳句5句） 日原方舟 16  
裸（\*俳句5句） 厨川千江 17  
蚊遣り（\*俳句5句） 庄司鶴仙 17  
夏の雲（\*俳句5句） 高木進一路 17  
卓の蛾（\*俳句10句） 三宅清三郎 17  
蟬とり 故郷の山々（三）（\*短歌11首） 生田蝶介  
18  
虹と噴水の十字架（\*短歌欄）  
近詠、蟹、冬の庭二首（\*短歌10首） 石井憲一 19  
灰工場所見、冬の食卓（\*短歌9首） 大野満 19  
端午のころ（\*短歌8首） 山田たくみ 20  
近詠八首（\*短歌8首） 江原青鳥 20  
棕櫚の花（\*短歌10首） 直塚淳 21  
折々の歌（\*短歌5首） 出口繁数 21  
山の湯（\*短歌11首） 山中俊次 21  
看護（\*短歌8首） 恵波紀世子 22  
生活雑詠（\*短歌10首） 山本康夫 22  
梅雨抄、ある悩みを持ちて、舟溜り三首（\*短歌9首）  
山中茂樹 23  
海の上の星座（\*詩欄）  
化粧、七月（\*詩2篇） 米田俊 24  
俺は青い朝の滴りに斬れる（\*詩1篇） 山本榕二  
25  
旅愁断章（\*詩1篇） 村田草之助 26  
青い乞食（\*詩1篇） 藤井正恵夫 27  
ある瞬間私は樹木となる（\*詩1篇） 田中鯨一郎  
27  
或るさむい風景（\*詩1篇） 藤原武男 28  
石よ（\*詩1篇） 増田潤二 29

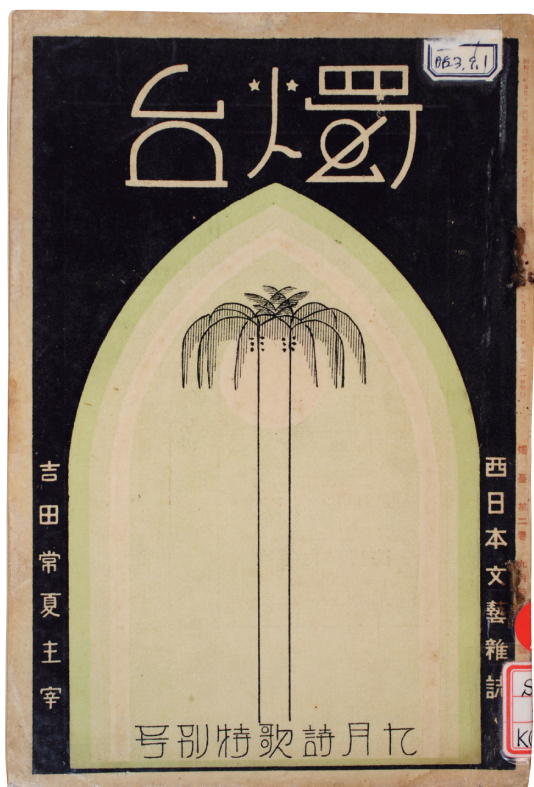
哀しき釣人（\*詩1篇） 藤井文次郎 29  
月見草（\*詩1篇） 林歌津路 31  
風の横顔（\*短歌欄） 32  
雨のあけくれ（\*短歌7首）中川芳江／この頃（\*短  
歌10首）齋藤閑子／山莊日記抄（\*短歌5首）小林は  
じめ／おとめ（\*短歌5首）久保田哀穂／雑詠（\*短  
歌4首）三浦正美／梅雨前後（\*短歌6首）松本真砂  
路／「さみだれ」（\*短歌5首）原田葉秋／さみだれ  
（\*短歌4首）秦龍生／五月雨晴（\*短歌4首）萱村敏  
／故郷（\*短歌6首）藤本貞治／をり〜（\*短歌5  
首）長尾烏女弁／小動物四種（\*短歌4首）岩本哀汐  
／地のひゞき（\*短歌9首）武田庫夫  
月夜の扇（\*俳句欄）  
田植を見る及燕（\*俳句5句）、燕の句、三つ（\*俳  
句3句） 兼崎地橙孫 36  
雨の硝子戸（\*俳句12句） 多田青士 36  
阿峴里の花（\*俳句10句） 内田碧渺々 37  
九月号は詩歌号特別原稿募集（\*予告） 37  
六号地帯（\*雑録欄） 19  
燭台歌壇の人々へ（\*随筆） 山中茂樹 19  
詠草七月集抄評（\*随筆） 出口繁数 24  
母を思ふ詩（\*随筆） 宇佐川正明 26  
齋藤閑子様へ（\*随筆） 梅津一郎 28  
燭台作家月旦（其ノ一）（\*随筆） 原田葉秋 30  
燭台歌会記録（\*随筆） 山中俊次 32  
其他の会二つ 37  
民謡豆細工（\*民謡欄） 38  
まゝよ三度笠、うしろ姿（\*民謡2篇）三谷みとか／  
牛追ひ唄（\*民謡1篇）後藤加奈緒／おらが二島（\*  
民謡1篇）安生東至郎／忘れよう（\*民謡1篇）能美  
知足／書いてあげたい（\*民謡1篇）油谷邦邑子  
砂の反射（\*詩欄） 40  
子等へ（\*詩1篇）長井盛之／遊び女に奪はる（\*詩  
1篇）犀河泗牛／霧の中の感想、雨と花（\*詩2篇）  
阿川芳雄／七月の空と露台（\*詩1篇）上村はるみ／  
感謝（\*詩1篇）配川暁風／ふるさと（\*詩1篇）定村  
峽秋／けむり、雀よあやまれ（\*詩2篇）角田啓／農  
村暮詩（\*詩1篇）池田龍雄／無題（\*詩1篇）服部堅  
志／独居（\*詩1篇）友川幹二／小曲（\*詩1篇）木本  
白汀／憧れ・片恋（\*詩1篇）寺田緑路／月の雲（\*  
詩1篇）川崎松夫／迷妄の認識（\*詩1篇）北斗星治  
／窓に思ふ（\*詩1篇）山本いさむ／朝（\*詩1篇）山  
川武男／淋しい時の唄（\*詩1篇）角野敏明／丘に來  
て（\*詩1篇）関屋みつる／別れ（\*詩1篇）河本よし

子／私の安泰(\*詩1篇)島野緋奈恵／渚を歩く(\*詩1篇)三浦美紗緒／朝の畑(\*詩1篇)山本春子／荒めり(\*詩1篇)山中葉子／知つた事(\*詩1篇)相澤群子／うわさ(\*詩1篇)西江詩朗／街と草地(\*随筆欄)  
 純情心境の俳句(\*評論) 兼崎地橙孫 48  
 宗不旱氏の歌(\*随筆) 大野満 49  
 夜雨氏その他(\*随筆) 佐々木巽 50  
 下関の一夜(\*随筆) 永野俊一 50  
 夜の下関印象素描(\*随筆) 萩野・藤井 51  
 菫色の帆影(\*短歌) 52  
 梅雨朝夕(\*短歌5首)北邨民路／藤椅子(\*短歌5首)葉山秋子／梅雨の頃(\*短歌5首)朝日奈昇緑／病あけ(\*短歌5首)吉鹿芳明／港(\*短歌5首)菅本露村／汽車の窓(\*短歌4首)山口百合雄／五月雨(\*短歌4首)帆足夜詩緒／妻の内職(\*短歌4首)河内山茂／清涼里(\*短歌4首)横矢武男／山百合(\*短歌4首)石田素秋／思ひ出の台湾(\*短歌4首)増岡ひさし／蟬捕(\*短歌4首)橋爪崕松／夏来る(\*短歌3首)加和奈美子／夏の憂鬱(\*短歌3首)小林利江／葉泉(\*短歌3首)末田晃／青田(\*短歌3首)木本思水／手術室(\*短歌3首)石川潤治／灯の色(\*短歌3首)杉本翠雨／夏の唄(\*短歌3首)安部覇都緒／雨を唱へる(\*短歌3首)隅田あさ夫／五月雨(\*短歌3首)山本好枝／故里去りて(\*短歌3首)奥田兒子／尊き犠牲(\*短歌3首)天野田逗子／ちぢれ毛(\*短歌3首)無名氏／遠山の火(\*短歌3首)藤井まさる／嘆く時(\*短歌3首)應賀十八／病院にて(\*短歌2首)遠藤秀男／故郷の歌(\*短歌2首)田中幸雄／つれづれの歌(\*短歌2首)松本由里／小門の朝(\*短歌2首)岡藤市／囚人馬車(\*短歌2首)藤田都好／初夏(\*短歌2首)奥野若水／病ひ(\*短歌2首)福田葉瑠雄／菜の花(\*短歌2首)手島翠泡／此の頃(\*短歌2首)郷月光／祭近(\*短歌1首)村上喜與志／灯し頃(\*短歌2首)五十崎惇／望み(\*短歌1首)古屋清／人(\*短歌1首)廣瀬翠／橙の花(\*短歌1首)磯田元彦／淡き月(\*短歌1首)山本寂涯／恋知る頃(\*短歌1首)無名氏／帆かけ舟(\*短歌1首)三明豊薯  
 八月集(\*俳句欄) 兼崎先生選 55  
 (\*俳句3句)橋爪崕松／(\*俳句3句)西村薫花／(\*俳句2句)板倉嗤秋／(\*俳句2句)大野満／(\*俳句2句)林川寥之介  
 赤い鳥籠(\*詩欄) 56

いさかひ(\*小曲1篇)きよせい／うつしえ(\*小曲1篇)水戸思香／拾つた花(\*小曲1篇)新居葉留恵／ひめごと(\*小曲1篇)中安美代子／二つの幻(\*小曲1篇)磯永つる子／白百合(\*小曲1篇)村田愛子／君よつよかれ(\*小曲1篇)岡崎満壽子／月がさします(\*小曲1篇)水野静芽／ふみがら(\*小曲1篇)新谷たけ夫／梅雨(\*小曲1篇)小堂茂／病身(\*小曲1篇)神谷實太郎／向ひの女(\*小曲1篇)岡野玉蓮／矢車草、ダリヤ(\*小曲2篇)星子詩篇(\*詩欄) 58  
 黄昏(\*詩1篇)村尾里火／彼女、流れゆく星(\*詩2篇)藤野夜詩緒／愛撫(\*詩1篇)福島陸一郎／訣別(\*詩1篇)石橋實／帰途(\*詩1篇)北川笑靨花／恋心(\*詩1篇)宗照夫／病みし友へ(\*詩1篇)江村不死男／愛情(\*詩1篇)藤本まさる／花園(\*詩1篇)松尾與平／断片詩(\*詩1篇)後藤孤愁／借金とり(\*詩1篇)戸須比露史／別れし君へ(\*詩1篇)桜ひさし／青春(\*詩1篇)沖永常芳／鐘の音(\*詩1篇)香月生  
 朝蟬夕蟬(\*俳句欄) 杉山飛雨選 60  
 (\*俳句4句)澤田玉湖／(\*俳句4句)橋爪崕松／(\*俳句3句)名取岳水／(\*俳句3句)多留美紫堂／(\*俳句2句)石川秀芳／(\*俳句2句)桜ひさし／(\*俳句2句)西月兎／(\*俳句2句)宮地鳴雨／(\*俳句2句)西村薫花／(\*俳句1句)平田一葉／(\*俳句1句)村上喜與志／(\*俳句1句)三明豊薯／(\*俳句1句)手島翠抱／(\*俳句1句)奥田王将／(\*俳句1句)小堂茂／(\*俳句1句)古屋清／(\*俳句1句)三好斗子／(\*俳句1句)徳永蛙聲  
 映画明暗(\*随筆欄) 61  
 想出のタイトル(\*随筆) 神田久二夫 61  
 映画おとし噺三題(\*随筆) 南千洲 62  
 妻三郎陽候出世作論(\*随筆) 沖秀夫 63  
 映画談議(\*随筆) 亀山望 64  
 燭台歌会 花の会(\*予告) 64  
 暑中御見舞 ノンブル外  
 誌友寮友往来 ノンブル外  
 御後援と御見舞 ノンブル外  
 燭台支部名簿(2) ノンブル外  
 七月寄贈雑誌 ノンブル外  
 大衆文芸(\*小説欄)  
 伝説「産婦物語」外四篇(\*小説) 加藤雅胤 66  
 異説大野九郎兵衛(\*小説) 馬場星湖 70  
 髑髏の話(\*小説) 芳澤千代彦 73

愛に哭く者(\*小説) 西田香蘭 75  
高砂十二年(\*小説) 永松歡 76  
西鶴の見たる小倉と下関(\*随筆) 田上耕作 78  
編輯後記 吉田常夏 ノンブル外  
寄稿清規と支部 ノンブル外  
※後ろ表紙に吉田常夏色紙の写真版をあしらう。

『燭台』第二卷第九号(昭和三年九月一日発行)



【判型】縦227mm 横154mm

【奥付】

昭和三年八月廿五日印刷／昭和三年九月一日発行  
(毎月一回一日発行)

編輯兼發行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 門司市大里南栄町三丁目 有馬彌満治

印刷所 門司市大里南栄町三丁目 合資会社有馬印刷所

電話一六二五番

發行所 下関市上田中町一三五三(略下関富田屋町)

燭臺詞寮

発売所／御注文所 下関市富田屋町 常夏荘 振替

口座下関一二〇七〇番

定価四十銭

表紙(石版) 藤永貞男

裏表紙(言葉) 野口雨情

創作版画(カット) 松下辰男

創作版画(カット) 加藤雅胤

創作版画(カット) 吉田常夏

伏して諸氏に切願す(\*社告) 吉田常夏 ノンブル外

海の女・山の女(\*随筆) 生田春月、中河幹子、林房雄 1

木立を造る(\*詩) 加藤介春 2

口笛(\*詩) 井上康文 3

カスタネット(\*詩)サトウ・ハチロー 4

神田田植唄(\*詩) 伊良子清白 5

釣魚 故郷の山々(四)(\*短歌14首) 生田蝶介 8

水浴ひ(\*短歌9首) 土屋静男 9

手帳から(\*短歌8首) 楠田敏郎 9

花茗夜話(明治詩壇過去帳その四)(\*随筆) 吉田常夏 10

支那詩の新鑑賞(\*評論) 田上耕作 13

反射爐 16

山中君へ寄する(\*短歌6首) 大野満 18

忙中雑詠(\*短歌7首) 石井憲一 18

初夏拾遺(\*短歌10首) 持田勝穂 18

福岡海岸其他(\*短歌10首) 直塚淳 19

都市雑唱(\*短歌9首) 石川ゆたか 20

合歓咲く溪(\*短歌10首) 山田渚実 20

夏夜憂愁篇(\*短歌10首) 出口繁数 21

生活断片(\*短歌8首) 山中茂樹 21

秋立ちて(\*俳句欄)

避暑の宿(\*俳句7句) 三宅清三郎 22

微恙(\*俳句5句) 佐々木巽 22

早(\*俳句5句) 厨川千江 22

蚊遣草(\*俳句8句) 庄司鶴仙 23

ゆふべ(\*俳句7句) 梅田磐翠 23

雑詠(\*俳句5句) 日原方舟 23

太陽花、無題(\*詩2篇) 米田俊 24

ウ・ノ・チ ツル・ボツチニ・ウエツチエロク  
真夜中に、煙筒の風(\*詩2篇) 秋良春夫  
訳、露国ヒヨドル・ソログーウ作詩 26

しづかなしづかな(\*詩) 後藤哀子 28

寂光、海水浴点景(\*詩2篇) 原善磨 29

夜は美しい黒船だ、減算のたのしみ(\*詩2篇) 加藤雅胤 30

呪詛、なみだ(\*詩2篇) 林歌津路 32

俸給日(\*詩) 阿南哲朗 33



寂心、影なし(\*詩2篇) 森田緑雨 34  
 馬と小便、片眼の少女(\*詩2篇) 野村吉哉 35  
 六号地帯(\*雑録欄) 22  
 北九州詩壇の人々(\*評論)原善磨/関門交友録【一】  
 (\*評論)若槻琢一/燭台作家月旦(第二回)(\*評論)  
 原田素秋/友の死(\*随筆)林川寥之介/燭台歌会記  
 録(\*短歌) 山中俊次  
 身邊雑事(\*短歌10首) 南部友也 36  
 葉のゆれ(\*短歌9首) 清成智衿 36  
 詠草(\*短歌4首) 藤富敬二 37  
 通り雨(\*短歌7首) 山中俊次 37  
 夏の蛍、寂思(\*短歌7首) 宇佐川正明 37  
 夏のをりをり(\*短歌11首) 江原青鳥 38  
 木下友敬博士に(\*短歌15首) 山本康夫 38  
 萩咲く頃(\*短歌欄) 40  
 松の実(\*短歌8首)齋藤閑子/このあけくれ(\*短  
 歌14首)恵波紀世子/いとし児(\*短歌6首)中川芳  
 江/母をいたみて(\*短歌5首)弘中晴恵  
 霧の街路樹(\*俳句欄)  
 秋ちかし(\*俳句8句) 久保白船 42  
 山撫子(\*俳句3句) 兼崎地澄孫 42  
 雨の青葉散る(\*俳句9句) 多田青士 42  
 あけ雲(\*俳句7句) 内田碧渺々 43  
 選稿(\*俳句欄) 兼崎地澄孫先生選 43  
 (\*俳句3句)山中俊次/(\*俳句3句)宮地鳴雨/  
 (\*俳句3句)板倉嗤秋/(\*俳句3句)村上喜与志  
 前月批評(\*評論) 42  
 出口繁数氏に答へて(\*評論)山本康夫/前号歌欄評  
 (\*評論)山本康夫/前号詩壇瞥見(\*評論)米田俊  
 月夜の肖像画(\*詩欄) 44  
 煙・海になまける(\*詩1篇)山本榕二/大鯨、瞑目、  
 月のないよる(\*詩3篇)田中鮫一郎/傷心(\*詩1  
 篇)能美知足/口笛(\*詩1篇)大庭紫朗/コスモス  
 の花(\*詩1篇)増田潤二/金魚(自画像)(\*詩1篇)  
 藤井倫太郎/山吹の花、昼の月(\*詩2篇)郡春夫/  
 点景(\*詩1篇)藤原武男/白夏絶韻(\*詩1篇)藤井  
 文次郎  
 秋風の横笛(\*短歌欄) 50  
 わがたつき(\*短歌11首)松本真砂路/心(これ等の  
 歌を川崎社外兄に)、山行水行(その一)(\*短歌11  
 首)永松歡/胡麻の花(\*短歌11首)小林元/折にふ  
 れて(\*短歌7首)岩本哀汐/夏の歌(\*短歌7首)久  
 保田哀穂/寂しき海景(\*短歌6首)秦龍生/爽竹桃  
 (\*短歌6首)萱村敏/妻の病みて(\*短歌5首)三浦

正美/蟬と家(\*短歌6首)原田葉秋/黍畑(\*短歌  
 8首)帆足美緒/途上 白秋先生帰郷随伴(\*短歌4  
 首)江口王樹/葡萄(\*短歌5首)藤本貞治/漁り村  
 (\*短歌8首)松下龍児  
 銀河明り(\*俳句欄) 杉山飛雨先生選 55  
 (\*俳句3句)多留美紫堂/(\*俳句3句)橋本長州楼  
 /(\*俳句3句)室中甲児/(\*俳句3句)橋爪崑松/  
 (\*俳句2句)石川秀芳/(\*俳句2句)阿部波路/  
 (\*俳句2句)添田土筆/(\*俳句1句)西月兎/(\*  
 俳句1句)小倉真依知/(\*俳句1句)山本克三/(\*  
 俳句1句)徳永抱月/(\*俳句1句)古屋清  
 竹箸会句草より(\*俳句欄) 56  
 (\*俳句2句)西田八重女/(\*俳句2句)仁専日鮮/  
 (\*俳句2句)石川秀芳/(\*俳句2句)渡辺松下人/  
 (\*俳句2句)篠原峰月/(\*俳句2句)末益嵐巴/  
 (\*俳句2句)佐々木巽/(\*俳句2句)伊藤倫女/  
 (\*俳句2句)伊藤竹舎/(\*俳句2句)佐野操/(\*  
 俳句2句)山田二山/(\*俳句2句)磯崎紀美女/(\*  
 俳句2句)萩野柿庵/(\*俳句2句)清水溪石/(\*俳  
 句2句)谷口あい女/(\*俳句2句)佐々木秋男/(\*  
 俳句2句)中曾江月/(\*俳句1句)大田猿人/(\*俳  
 句1句)平田萃芳/(\*俳句2句)東了  
 街と草地(\*随筆欄)  
 「ちちのみ」考(\*随筆) 大野満 58  
 合歓の花(\*随筆) 佐野操 58  
 あれやこれや(\*随筆) 杉野朴 60  
 感心した二人の女(\*随筆) 馬場星湖 60  
 言葉蒐集(\*随筆) 永野俊一 60  
 せんちめんたる一景(\*随筆) 郡春夫 61  
 陽の縞 口語歌(\*詩欄) 62  
 八月のくさむら(\*詩1篇)舟田一二/世に生きる  
 (\*詩1篇)山下寛治/淋しいとなみ(\*詩1篇)渡  
 部しづか  
 紅い紐 民謡(\*民謡欄) 64  
 まゝ母さまこ、風と煙(\*民謡2篇)後藤加奈緒/昼  
 寝の夢、つばめ(\*民謡2篇)角田啓/待つてゐるか  
 と(\*民謡1篇)林田ひさし/森の小鳥(\*民謡1篇)  
 内川萃月/そのまゝ、帰れぬ(\*民謡1篇)邦邑子  
 女人風景(\*詩欄) 66  
 哀調、爪紅の花(\*詩2篇)関原みつる/林檎のバン  
 ド、八月の風(\*詩2篇)山本春子/わたしの心、そ  
 よかぜ(\*詩2篇)山中葉子/真昼、乳(\*詩2篇)矢  
 口草子/思慕、音楽師(\*詩1篇)相澤群子/夕ぐれ  
 (\*詩1篇)芳賀好/処女、嵐は去つて(\*詩2篇)柏

木夫見子／紫陽花（＊詩1篇）岡崎満壽子／思ひ出の糸（＊詩1篇）柴谷佳子／ネクタイ（＊詩1篇）村田愛子

青磁の陰影（＊詩欄） 70

ざくろ、あぢさゐ（＊詩2篇）名村春一郎／夏の夜空（＊詩1篇）西江直一／街上偶感（＊詩1篇）阿川芳雄／自白（＊詩1篇）寺田友一／夏二篇（＊詩1篇）小池喜之介／トマトよ（＊詩1篇）西江詩朗／秋野即興（＊詩1篇）上村はるみ／夜更けの公園（＊詩1篇）江村不死男／うたがひ（＊詩1篇）定村峽秋／夏宵の踊（＊詩1篇）西田香蘭／夏（＊詩1篇）山川秋晡／場末の酒肆にて（＊詩1篇）大野緑平／夏の夜空、愛するがゆゑに（＊詩2篇）吉本万二郎／流転（＊詩1篇）石橋実／蚤を殺す（＊詩1篇）長尾烏女弁／すけつち、やせた詩（＊詩2篇）池田達雄／小曲（＊詩1篇）木本白汀花／提灯ばな（＊童謡1篇）佐野操／雪（＊童謡1篇）金子みすゞ／れんげ（＊童謡1篇）松羅たかし／星降る窓（＊短歌欄） 76

（＊短歌6首）田中幸雄／（＊短歌6首）山本克三／（＊短歌6首）河内山茂／（＊短歌5首）菅本露村／（＊短歌5首）橋爪崕松／（＊短歌5首）葉山秋子／（＊短歌4首）杉原敏治／（＊短歌4首）山本好枝／（＊短歌4首）増岡ひさし／（＊短歌4首）杉本翠雨／（＊短歌4首）木本思水／（＊短歌4首）三苦ひさか／（＊短歌4首）安部覇都緒／（＊短歌4首）吉鹿芳明／（＊短歌4首）宮地豊洲／（＊短歌4首）山澤静一郎／（＊短歌4首）桑羽狂光／（＊短歌3首）奥田妥兌子／（＊短歌3首）濱野京子／（＊短歌3首）岡藤市／（＊短歌3首）松尾健槌／（＊短歌3首）中野はるみ／（＊短歌3首）秋山紅花／（＊短歌3首）牛見幽明／（＊短歌2首）上田清／（＊短歌2首）磯田京一郎／（＊短歌2首）村上喜與志／（＊短歌2首）遠藤秀男／（＊短歌2首）久恒梅夫／（＊短歌2首）真野敏穂／（＊短歌2首）大野勝造／（＊短歌2首）應賀十八／（＊短歌2首）北良邊喬／（＊短歌2首）北川笑鬢花／（＊短歌1首）古屋清／（＊短歌1首）三戸國頭

口語歌 服部嘉香先生選（＊短歌） 79

寂身（＊短歌7首）田中いさ夫／板一枚（＊短歌5首）清水正義／月夜の釣（＊短歌4首）橋爪崕松／白ばら（＊短歌2首）緑田良平

吾亦紅集（＊詩欄） 80

或る女性に（＊詩1篇）花園美宵／初盆の夜（＊詩1篇）岩中スミ子／放浪（＊詩1篇）福島陸一郎／ひるね（＊詩1篇）三村輝美／太陽を追ふて（＊詩1篇）手

島翠抱／汽車よ（＊詩1篇）山本しぐれ／うれしい日、淋しい生命（＊詩2篇）渡邊智／三つの心（＊詩1篇）福田葉瑠雄／旅芸人の群（＊詩1篇）水野静芽／沈黙（＊詩1篇）美佐生／落日断感（＊詩1篇）服部堅志／海浜の哀愁（＊詩1篇）越智弾政／蟬（＊詩1篇）恒成秋聲／こぼれし小花（＊小曲1篇）水戸思香／思ひ出（＊小曲1篇）大熊義一／窓（＊小曲1篇）中安美代子／ある夜（＊小曲1篇）徳永信静／夜の雨（＊小曲1篇）片山智枝／朝顔（＊小曲1篇）新谷たけ夫／鈴蘭の押花（＊小曲1篇）古長篤巳／ほのかなるもの（＊小曲1篇）河野慶助／別れ（＊民謡1篇）きよ・せい／木挽の唄（＊民謡1篇）甲木文造／別れの唄、恋心（＊民謡2篇）西村雅緒／はたち娘（＊民謡1篇）藤野夜詩緒／月（＊民謡1篇）溝部正道／灯がゆれる（＊民謡1篇）原田壽穂

映画明暗（＊随筆欄） 84

嵐（短篇シナリオ）（＊シナリオ）椎野桂風／帝都映画界片々録（＊随筆）上山真砂介／日本映画三篇（＊随筆）南明夫

編輯後記 吉田常夏 88

詞友寮友往来 ノンブル外

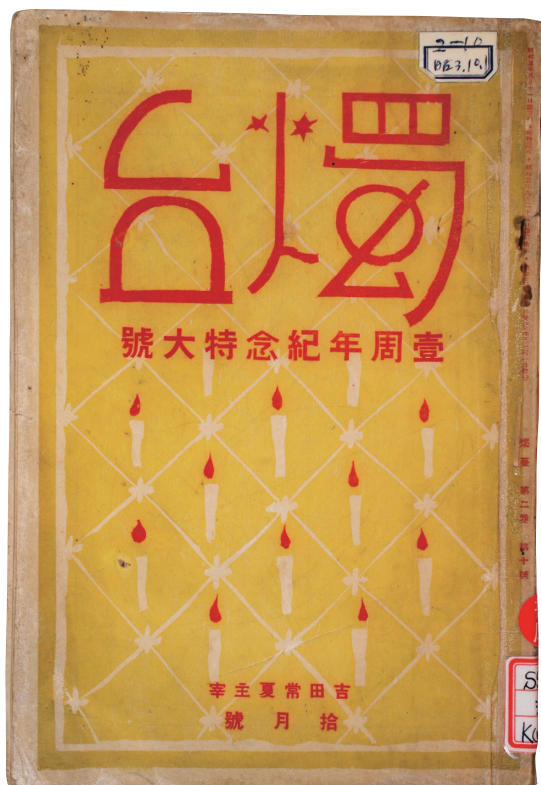
御後援と御見舞 ノンブル外

同情会第二回報告 ノンブル外

寄稿清規と支部 ノンブル外

※後ろ表紙に野口雨情色紙の写真版をあしらう。

『燭台』第二卷第一〇号(昭和三年十月一日発行)



【判型】縦224mm 横154mm

【奥付】

昭和三年九月廿五日印刷／昭和三年十月一日発行  
(毎月一回一日発行)

編輯兼發行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市西南部町 中野吉蔵

印刷所 下関市西南部町 関門商況通信社 印刷部

發行所 下関市上田中町一三五三(略下関富田屋町)

燭臺詞寮

発売所／御注文所 下関市富田屋町 常夏荘 振替  
口座下関一二〇七〇番

定価四十銭

表紙並にカット(創作版画) 加藤雅胤

裏表紙(写真版) 小倉六歌仙短冊

創作版画(カット) 松下辰男

創作版画(カット) 大野勇

一周年を迎へて(\*詩) 吉田常夏 1

民謡三章 雑草、傘、見送り(\*詩3篇) 河井醉茗  
2

春の木乃伊(\*詩) 加藤介春 3

月と雨の夕暮(\*詩) 井上康文 5

浮世は嘯る(\*詩) 野村吉哉 7

中学校、若き人の家(\*短歌10首) 釋超空 8

兄の死後(\*短歌3首) 対馬完治 8

ひでり(\*短歌4首) 菊池剣 8

落潮(\*短歌12首) 三谷蘆華 9

蟲風流(\*短歌10首) 矢嶋歡一 9

身邊雑唱(\*短歌6首) 楠田敏郎 10

一の宮へ 故郷の山々(五)(\*短歌14首) 生田蝶介 11

自分と下関——おもひで——(\*随筆) 青木健作  
12

尺牘にかえて(\*随筆) 水守亀之助 16

残暑漫言(\*随筆) 須藤鐘一 17

反射爐 20

養福寺貯水池行(\*短歌8首) 大野満 22

黙つて行く(\*短歌4首) 柳田新太郎 22

鮎のあらひ(\*短歌10首) 南部友也 22

秋日静閑(\*短歌12首) 小川五郎 23

日田遊草(\*短歌9首) 山田たくみ 23

真葛(\*短歌5首) 藤敬二 24

生活雑唱、対馬行(\*短歌12首) 山中俊次 24

此頃の雑詠(\*短歌8首) 永松歡 25

温泉行(\*短歌9首) 杉本かく路 25

涼夜(\*短歌8首) 久保田哀穂 26

近詠(\*短歌3首) 出口繁数 26

吉田常夏氏に(\*短歌7首) 梅津一郎 26

雑詠(\*短歌8首) 石川香村 27

木槿の花(\*短歌6首) 宇佐川正明 27

関門の秋(\*短歌9首) 直塚淳 28

小門報濟園(\*短歌11首) 山本康夫 28

廃弾薬庫、斎藤瀏先生に会ふ(\*短歌12首) 山中茂樹 29

華麗な放射路(\*詩欄)

散歩(遺稿)、憂鬱を刈る(遺稿)(\*詩2篇) 藤井正恵夫 30

人魚の歌(\*詩1篇) 大庭紫朗 32

朝の食卓、梨、とまと(\*詩3篇) 森田緑雨 33

或る心の詩、一つの世界(\*詩2篇) 佐川信一 34

新秋と日光と私のゐる風景、七夕祭(\*詩2篇) 原善磨 36

輪廻(\*詩1篇) 萩野健二郎 37

母を憶ふ(\*詩1篇) 林歌津路 38

岩は坊さんだ(\*詩1篇) 藤井文次郎 39

朝の領事館、真昼の旗(\*詩2篇) 加藤雅胤 40

味爽之賦(\*詩1篇) 米田俊 41  
訣別詞(\*詩1篇) アアネストダウスン、玉井雅夫  
訳 42  
詩話詩評 燭台九月号の詩を読み(評論) 加藤  
介春 30  
一人一首評(詩歌号) (\*評論) 大野満 38  
十月の燭台の会 42  
現代歌壇の趨勢(\*評論) 宇都野研 43  
『三部假名鈔言譯』に就て『一』(\*評論) 大野満  
45  
ちゝのみ考について(\*評論) 毛利元恒 47  
金色の樹層(\*詩欄) 51  
ふるさと、たそがれ(\*詩2篇)池田順介/旅行(\*  
詩1篇)山川和夫/髪に、秋(\*詩2篇)山本榕二/  
曼珠沙華(\*詩1篇)星野胤弘/俺・葬式好きだ(\*  
詩1篇)石井初雨/お前の名、力(\*詩2篇)島田磬  
也/秋の蝶(\*詩1篇)増田潤二/光を求めて(\*詩  
1篇)白石軍司/青春の美酒(\*詩1篇)佐々木幹夫  
/今朝の秋(\*詩1篇)広井詩杜美  
秋日小景(\*随筆2篇「朗かな嘲笑」「肥った哲人」)  
馬場武 56  
葛の葉(\*随筆) 佐野操 58  
蝮五句(\*俳句5句) 佐々木巽 60  
立秋(\*俳句5句) 厨川千江 60  
上汐(\*俳句10句) 庄司鶴仙 60  
良夜(\*俳句10句) 田中萱山 61  
五色団扇(\*俳句4句) 三宅今年竹 61  
花火(\*俳句3句) 兼崎地橙孫 62  
聴診器にかくれて(\*俳句7句) 飯田不味堂 62  
秋の雨溝(\*俳句9句) 多田青士 62  
焼栗(\*俳句2句) 板倉嗤秋 63  
京城燭台句会記(\*俳句5句) 63  
稲妻の登音(\*短歌欄) 64  
(\*短歌8首)武田庫夫/(\*短歌11首)松本真砂路/  
(\*短歌9首)岩本哀汐/(\*短歌8首)帆足美緒/  
(\*短歌6首)小林元/(\*短歌4首)三浦正美/(\*  
短歌9首)木本白汀花/(\*短歌5首)原田葉秋/(\*  
短歌5首)藤本貞治/(\*短歌3首)西村薫花/(\*短  
歌6首)紅志紅潮/(\*短歌4首)長尾烏女弁/(\*短  
歌4首)奥田妥兌子/(\*短歌5首)麻生茂一/(\*短  
歌5首)江口王樹  
深夜の花園(\*短歌欄) 69  
(\*短歌11首)藤井優紀子/(\*短歌10首)恵波紀代子  
/(\*短歌10首)古市百合子/(\*短歌4首)属壽子/

(\*短歌4首)松本由里/(\*短歌10首)森田静枝/  
(\*短歌10首)中川芳枝  
燭台雑詠十月集(\*俳句欄) 三宅清二郎選 72  
(\*俳句2句)西月兔/(\*俳句2句)橋爪岨松/(\*  
俳句2句)富岡翠山/(\*俳句2句)石田素秋/(\*俳  
句1句)垂水秀夫/(\*俳句1句)庄司信子/(\*俳句  
1句)田中薫水/(\*俳句1句)古屋清/(\*俳句1  
句)徳永蛙聲/(\*俳句1句)名取岳水/(\*俳句1  
句)藤井愛花/(\*俳句1句)恒成岩雄/(\*俳句1  
句)中村珀水  
六號地帯(\*雑録欄) 64  
前號歌評(\*評論)山本康夫/『燭台』第九回短歌会  
(\*評論)山中俊次/短歌講演会記録(\*評論)三浦正  
美/燭台小集(\*評論)山本康夫/顧みて(\*随筆)手  
島翠抱  
朝晴れ(\*民謡欄) 73  
西瓜売り車(\*民謡1篇)永野俊一/稲刈歌(\*民謡  
1篇)安生東三郎/秋の歌(\*民謡1篇)戸須比呂志  
/英彦山で(\*民謡1篇)林田ひさし/十七娘(\*民  
謡1篇)渡邊智/恋(\*民謡1篇)黒田安藝緒/あひ  
びき、山家育ち(\*民謡2篇)細田静夫  
星の点線(\*詩欄) 76  
海水浴の私(\*詩1篇)村路博/蜻蛉(\*詩1篇)小柳  
紫風/初秋の情熱、朝あけのかんかく(\*詩2篇)阿  
川芳雄/月見草(\*詩1篇)相川充/秋(\*詩1篇)西  
田香蘭/西瓜(\*詩1篇)宮地豊洲/兄を忘れた弟  
(\*詩1篇)定村康文/淋しさに、処女へ(\*詩2篇)  
寺田友一/兄上に捧ぐ(\*詩1篇)新谷たけ夫/初恋、  
君は病む(\*詩2篇)吉本万二郎/看板屋風景(\*詩  
1篇)山川武男/火(\*詩1篇)角田啓  
女人風景(\*詩欄) 80  
幸福、白れんげ(\*詩2篇)河本よし子/笑へぬ人、  
まぼろし(\*詩2篇)相澤群子/幻想(\*詩1篇)三浦  
美沙緒/秋のなげき(\*詩1篇)山中葉子/秋(\*詩  
1篇)山本春子/毀れし皿、日暮(\*詩2篇)関屋み  
つる/狂想(\*詩1篇)邦邑子/出さないお手紙(\*  
詩1篇)磯永つる子  
街と草地(\*随筆欄) 83  
青木健作氏と私(\*随筆)久保白船/三百圓の行く方  
(\*随筆)内田馨/秋宵随筆歌(\*随筆)原田葉秋/歌  
味雑興(\*随筆)秋野風人/映画雑記帳(\*随筆)亀山  
望/獨り者の日記(\*随筆)池田達雄  
秋の色硝子(\*詩欄) 87  
同情(\*詩1篇)藤野夜詩緒/初秋の午後(\*詩1篇)

渡邊智／秋の訪れ(\*詩1篇)西尚美／秋思詩断章  
(\*詩1篇)服部堅志／あるひるさがり(\*詩1篇)岡  
村満壽子／夕の田路(\*詩1篇)内川華月／さみしい  
矛盾(\*詩1篇)菊川キニル／詩の泉(\*詩1篇)後藤  
磨砂登／無題(\*詩1篇)松尾健槌／闇(\*詩1篇)高  
田美佐生／信念は叫ばず(\*詩1篇)福島陸一郎  
虹の仙女(\*詩1篇)應賀十八／哀しき心(\*詩1篇)  
西江詩朗／墓に行く道(\*詩1篇)甲木文造／港の夜  
(\*詩1篇)吉村史郎／別離(\*詩1篇)石橋実／風景  
は冷たく動く(\*詩1篇)福田葉瑠雄／病床にあへぎ  
つ(\*詩1篇)宗照夫／恋が真赤な(\*詩1篇)みつる  
／山の灯(\*詩1篇)江村不死男／自然の秋(\*詩1  
篇)牟田浪路／月(\*詩1篇)田原正夫／無情(\*詩1  
篇)金子光紅／天然(\*詩1篇)徳永信静  
けむり(\*小曲1篇)西田幸夫／君へ(\*小曲1篇)水  
戸思香／蓮芋の葉(\*小曲1篇)香賀山弴／淑女(\*  
小曲1篇)久恒梅夫／流れ星(\*小曲1篇)山本いさ  
む／水門(\*小曲1篇)小川洗之介／淡き憧れ(\*小  
曲1篇)田中由比子／誘惑(\*小曲1篇)片山小夜子  
／彼女の幻(\*小曲1篇)香和内しげを  
銀箔の白露(\*短歌) 92

(\*短歌8首)橋爪崕松／(\*短歌8首)北邨民治／  
(\*短歌7首)杉原敏治／(\*短歌7首)真野敏夫／  
(\*短歌6首)河内山茂／(\*短歌6首)菅本露村／  
(\*短歌8首)増岡ひさし／(\*短歌6首)應賀十八／  
(\*短歌6首)宮地鳴雨／(\*短歌6首)吉鹿芳明／  
(\*短歌5首)萱村敏／(\*短歌5首)藤本百合子／  
(\*短歌5首)田中幸雄／(\*短歌5首)花井正／(\*  
短歌5首)岡藤市／(\*短歌4首)隅田あさ夫／(\*短  
歌4首)牛見正二／(\*短歌4首)縄田平三郎／(\*短  
歌3首)木本思水／(\*短歌2首)秋山紅花／(\*短歌  
3首)遠藤秀男／(\*短歌3首)中村まさみ／(\*短歌  
3首)中村佐香枝／(\*短歌3首)杉本翠雨／(\*短歌  
3首)加藤春子／(\*短歌2首)田中由比子／(\*短歌  
2首)磯田哀一郎／(\*短歌1首)古屋清

編輯後記 吉田常夏 97

寮友誌友往来 ノンブル外

寄稿清規と支部 ノンブル外

※後ろ表紙に小倉六歌仙短冊の写真版をあしらう。

本稿は令和元年度受託研究「『やまぐちの文学者たち』に係る調査・研究」の成果の一部である。